

皇朝史略便蒙

扶原正平訂正
飯田恭雄編輯

下

210.1

コ

下

村上天皇

成明 ○ 第十四子

克明保明代明重明常明式明有明時
明長明雅明朱雀帝行明章明次三帝也

坂麻呂 ○ 官符 ○ 糾察其狀 ○

入右近衛府曹司 ○ 禁内 ○ 諸衛

○ 忠平 ○ 貞信 ○ 寬厚慈愛 ○ 朝野

○ 要職 ○ 一門烜赫 ○

藤原氏ノ盛 ○ 三平 ○ 相工ノ人相見 ○ 相

文獻太子 ○ 容貌過美 ○ 智數過多



吳越支那 盛德言 乾元大寶錢 狂

女女鬼 橘 歌合 顯忠 朴素

鹽漱 盤 杓 灌洗 前驅

從 蚤世 畏慎 温明殿禁中綾綺殿東

神鏡 太刀 節刀 契印以上三品ノ下禁秘御抄上卷ニ出ソ

宜陽殿日華門北 春興殿日華門南 安福殿日華門南

戎器 内記左右兵衛陳南内記ノツメ所 仁壽

殿南殿 大乙式盤太乙式ノフニイッ盤ハ臺盤也 遷都

桓武帝ノミヤコヲ遷 神嘉殿中院ノ正殿 職曹司后皇

官職ノ 災殃 灰燼 形質 縫殿寮正親町北

西洞院ノ西ニアリ女王以下ノ名帳考課及衣服ノ裁縫等ヲ掌ル 年官後一條天皇ノ下ニ註ス 登子

娶居 別曹曹ハ局ニ同シ 高明 村上山陵

明敏 寛裕 温恕 恩無偏倚メグミニカタヨリガナキ

延光 眷遇 一學生一人ノ書生 雅材玄道ノ子

惶懼 稱寛 理 得失 主殿寮供御ノ器

拭及ヒ殿庭ノ酒掃 燎燭 率分堂率ハ約數也五幾内ソノ他數國ノ

禮講武此説カ ○蹈歌クウカ ○曲宴キョクエン ○游戲イグキ ○因イン

循ジュン ○満仲ミツナカ ○善時ヨシトキ ○繁延シゲノブ ○在衡アリヒラ ○千晴チハル

○連茂レンモ ○憾ウラム ○上變タテマシナ ○因事排陷ヨテコトニハイク ○心疾シンシツ ○增劇マスキバゲシ

○所構ラレコウセザンゲン ○搜捕シウホ ○安和アンナ

○朝綱不振テウカウスフル ○安和アンナ

圓融天皇

守平モリヒラ ○第五子ダイゴシ 第三致平親王第四爲平親王次ニ帝ナリ ○母弟ボテイ同母弟

○皇姪クワウテツ ○皇太子クワウタイ 傳フ ○清慎セイシン ○山蔭ヤマカゲ ○如ニヨ

無ム ○漁者キョウヤ ○挈ケツ ○倅イツル ○墜オトス ○恪勤カクキン 恪謹也ツトメニ怠ラヌ

○衛士エイジ ○蓑笠ササリフ ○顧門コモン 顧オタツ 門ネヲ ○明詳メイシャウ

兼明カネアキラ 母ハ更衣藤原淑姬 ○頼忠ヨリタカ ○兼通カネミチ 師輔ノニ子 ○參決サンケツス

庶務シヨムラ ○謙德ケントク ○豪奢ゴウシャ 豪剛也ツヨキオゴリ ○大饗ダイキヤウ 大臣々ル人年

ノ始ニ行フ饗應ナ ○寢内シナイ 寢堂ニ ○陳故チンコ ○陸奥紙リクオシ

擅紙イハコル ○糊コ ○節儉セツケン ○終制シュウセイ 終焉ノ ○儉薄ケンハク

顯達ケンタク ○淹滯エンシ 立身セヌ ○觖望ケツボウ 怨望也ノジミノカナ ○

朝參テウサン 伊ナリイナリ ○愴然サウゼン 悲惻ノ見 ○戚容セキヨウ シウシヤウノヤウス ○

有隙アリゲキ ○火ヤク ○材武者サイバシヤ 堪タカ用ヨウ者シヤ曰イハレ材武者ニ ○

怪異クワイイ ○蠲クワン也也 ○僞エイノハシ半ナカ 僞ハ役ヤク也也 ○壓アツ

○周シユウ幄ワク ○堀河ホリカハノダイ第ダイ 二條ニジョウ南堀川ミナホリカハ東堀トウホリ ○昭平アキヒラ 村上ムラカミ 帝ミカド

七子母シチコノハハ ○策サク為親王ヲシニシテワウト 策サツ冊ハツ ○龜山カメヤマ ○菟裘トキウ賦フ 本朝ホンチャウ 文粹モンズイ

六卷ロククワンニイヅ左氏サシ隱公インコウ十一年ジュニイチネン傳公デンコウ曰イハレ使シ營エイ菟裘トキウ五將ゴショウ老焉ロウヤ註シュ 魯邑ロウイ不フ欲ヨク復居フクキ魯朝ロウチャウ故營コエイ外邑ガイイトアリ此コノニ因ユヅルテ作サスレルナリ

○雅信マサノブ 母ハハ藤原フジワラ ○敦實親王アツサネ 宇多帝ウタヒメノ九子クノコ 母皇ハハミカド太后トウヘイ胤子イノコ ○忠チウ

義ギ ○嬪ヒン子シ ○女御ニョウゴ ○超ユキ子コ ○詮セン子シ ○忿然フンゼン

○嫌隙ケンゲキ ナカノワルキコト ○僥倖ゲウコウスヒ非ヒ冀キ ヲダテル ○擯斥ヒンセキ

○病革ヘイカイ 禮記レイキ曰イハレ夫子フフシ之病革シ矣ヤ言急ゴンキツ ○力疾リキツ ○除目ジョモク 官クワンヲ任ニ

江次第抄エノサダヒラキ云イハレ或勅目オクメ或除目オクメ其儀シ一也イチ除任オクニ之儀シ除舊宮オクキウキウ就新宮ニウキウ故也コト目者メシヤ錄也ロクトアル是也コト ○濟時セイジニ子シ ○石イシ

清水シミヅ ○調庸テウヨウ 孝德天皇コウトクテウノ下シタニ詳シユウニス ○路梗ロコウ ○熾シ ○劫掠カツリヤク

○案アン ○紀綱キコウ大系オホヘイ ○天祿テンロク ○天延テンエン ○貞元テイゲン

○天元テンゲン ○永觀エイクワン

華山天皇

師貞シロサダ ○贈皇太后ソウクワウコウ 師尹シイ女メ ○木キ從繩シヨウ則正スミ

ナハノトホリニケヅ ○后キミ從諫シヨウ則聖セイ 臣シ下シタノイサメヲモチフレバ聖主セイシュナリ

ト云
○敢諫
敢忍爲也テジ
○讜言
正論ニ
廣徳

之戒樓船
前漢薛廣德字長卿元帝ノ時御史大夫トナ
ル帝出テ樓船ニ乗ラントス廣徳諫メテ止ム

朱雲之折殿檻
前漢朱雲字游成帝ノ時諫ムル所アリ帝
怒ル御史之ヲヒキテ下ラントス雲殿檻ヲ攀

テ檻折ル遂ニ
○永令無理
○聚唇
上下ムツマシク
用ヒラレハス

以目
○面折
呂后紀一延詔
註直損人過失也
○尸諫

死シテアヲ以テ君ヲ諫ムルト云一
○叔向
左氏襄公十四年ノ傳
衛史籀ノ故事也新序ニイヅ

重祿不諫
○畏罪
○秀才明經
前ニ
○課試

及第
○儒士
學者
○匡
○不逮
テイタラ
シケンヲウケテ
登第セルモノ

ト云
フ一

論英傑
○壅蔽
○聰明自恃
自ラソノメイト
思テタノミニスル一

○陵遲
○垂拱仰成
衣ヲタレ手ヲ拱イテ
ナリユキヲマツ

決果斷
○遲
○剛明
○求言
ハツキリトシテ
トリサバク一

求讜書
○文具
文章
ヲ云フ

○廢弛
○紊亂
○義懷
○惟成
○協
○齊

○大江匡衡
音人ノ玄孫
○大蟹
○承香殿

仁壽殿ノ
○大嘗祭
○豐樂院
○華山寺
山城國宇
治郡山科
北ニアリ

外舅ケイキョウ ○干預カンヨ ○道兼ミチカネ ○探知タンチ ○忒子テイコ ○

厭エン 棄塵累キスチンルイ ○嚴久ゴンキウ ○陛下ヘイカ

第ダイ ○ナニカナシニト云フ ○奉從ホウジュウ ○猶豫イユウヨ ○趣ウツカス ○語孫武傳ニ君第重射

劍璽ケンシ ○翳月オホフツキ ○願成ネガヒナ ○本書吾出家ハ成就スルナリ

元慶寺ゲンキョウジ ○行在アンザイ ○披刺ヒライ ○給アサガフ ○聖セイ ○披刺ハ僧トナル

約ヤク ○所賣ルウラ ○妃嬪ヒヒン ○安部アベ ○ミカドノオ

晴明ハルアカフ ○天象テンシヨウ ○駭オドロク ○急變キツヘン ○益材マスチ ○テシヨウ

陰陽推算之術オンニヨウスサシノジユ ○賀茂忠行カモノタダユキ ○雜ザツ ○天文曆術

占セン ○奇中キチュウ 如神ニシ ○巧思コウシ ○器キ ○テワザニタクミ

創意ソウイ 出奇イキ ○拾遺集シツイシツ ○メツラシキモノ ○二十卷千三百五十一首

論書畫ロシヨガク 翫好コウ ○宋徽宗ソウキソウ ○元順ゲンジュン ○神宗ノ十一子名

帝テイ ○諱ハ多歡帖木爾明宗ノ子 ○弒意 ○才藝サイゲイ 絶倫ゼツリン ○同シ

社稷シヤシツ 顛覆テンフク ○墟キョ ○天資テンシ 絶巧ゼツコウ ○才調サイテウ ○韻致也

翫物モテアスヘモノ 喪志ウシタフコト ○尚書 ○惑溺マドヒオホル ○モテアスヘモノ

寛和クワンナ

一條天皇イチテウテンノウ

懷仁カネヒト○女御ニョウゴ藤原詮子梅壺ノ女御ト云兼宗ノ女○所生セイミハハヲ云フ○

爲光タカミツ師輔ノ九子○裔然テウネン○一切經イツサイキヤウ○職員令シキキンリョウ○

年代記ネンダイキ○太宗タイソウ○存撫ソンブ○紫衣シイ○興國寺コウコクジ

○皇系コウケイ一姓傳繼イツセイデンケイ臣下シンカ皆世官ミナセイキョウ○宰相サイシヨウ大臣ダイジン

○國祚コクソク遐久カキウ皇祚コウソク無窮ナクナル○繼襲ケイシユウ不絕ズゼツセ○唐季トウキトウ

○寓縣ユケン分裂レツヨノナカミワカレサケル○梁周リョウシュウ五代ゴダイ後梁後唐

後晉後漢後周コ○亨歷ウクルキ尤促トキトキ歷ハ代ニ同シ○世胄セイシュ○豪邁ゴウマイ豪英豪強

續シヨク○新制シンセイ十三條ジサンデウ○亢旱カウカン亢旱九旱也ヒ○豪邁ゴウマイ也強

也スガレタルゴウキ○屬文ゾクブン○名冠ナクワン當事ジニ○柄臣ヘイシン政權セイケンヲトリ威勢アル臣

○展テン○快クワイ情不滴情不滴○中書王チュウシュウオウ中書中書ハ中○道ミチ

隆リウ○春日社カスガヤシ大和國大和國○廉義レンギ○三日並見サンジツナラビミ○

責授ヒキツクツミアルトキトガメテ官ヲサゲル○貶斥セキキ○沈滯チンテイモチキラレズシテシモニラル

○晚年バンネン○奢侈シヤセ○東三條第トウサンジョウダイ○模モ○清涼セイリョウ

殿テン○奢シヤ○重信シウシン六條左大臣ト号ス時平ノ女○恒德コウトク○鷹タカ

司シ○忠良チュウリョウ○俘獲フワツ○雅信マヤシン敦實親王ノ三子○後凉コウリョウ

殿テン在清涼在清涼○弘徽殿コウキウテン在清涼殿北○飛香舍ヒヤウシャ在弘徽殿北○

殿テン在清涼殿西○弘徽殿コウキウテン在清涼殿北○飛香舍ヒヤウシャ在弘徽殿北○

分差 ○伊周 幼名小千代 道隆ノニ子 ○二條 ○粟田 ○戚

容 ○醜 ○道長 兼家ノ 季子 ○内覽 ○歆羨 ○族

子 ○公任 賴忠ノ 長子 ○激勵 ○揆 ○默 ○

蹈其面 ○少時 ○量 リヨウ 器量 ○冒 ○三更 本書ニ ヨフケ

○畏縮 ○從容 舒緩 ○證 ○巾箱 本書オ ンデバ

○小剪刀 本書カタ オトアリ ○股栗 ○前 ○少選 ○

徐 ○一木栢 本書タカミクラノミナミオモテノハシラ ノモトヲケヅリテトアリ 栢ハ削木片也 ○

削取 ○驗 ○騷擾 ○惶懼 ○神色自若 イロ

○無它 ○驚佚 逸也走 ○賴光 ○將帥

之量 ○善射御 ○飯室 地名 ○奇表 本書イミジ クオハシマセ

○外祖 ○高階成忠 ○咒詛 ○慚忿 ○嫠

居 ○輕使 俠ハオト ヲトコジテ ○喧傳 ○太元法 大元帥法 也大元帥

云明王部總司仁明帝承和五年常曉 ○東三條大后

○震怒 ○惟時 ○處竄謫 ルザイニオ ヲナフ ○顯光

○鴨河 山城國 愛宕郡 ○溢 ○廬舍 ○高麗 ○廷議

○鴨河 山城國 愛宕郡 ○溢 ○廬舍 ○高麗 ○廷議

○鴨河 山城國 愛宕郡 ○溢 ○廬舍 ○高麗 ○廷議

不報テウテイヒヤウギシテヘ ○嚴警邊備警ハ戒也海防ノソナヘ

○公季キンスエ ○邊陲スギクニノカ ○宣耀殿セウヨウテン麗景殿北

○大宮院オホミヤノケン一條南大宮東 ○致賴トモヨリ ○維衡コレヒラ ○致忠トモタツ

輔政スケマサ ○彰子テルコ藤壺ノ女御ト云フ ○中宮ナカミヤコノ御世ヨリ二人ノ台ヲ立ルトナリ一ヲ皇后一ヲ中

宮ミヤト ○翕赫ウツカク翕盛也イセイノ ○大江以言オホエノモヲトギ ○鹿馬ロクバ

應迷オウミ 二世情セノシヤマ秦超高威權ヲ恣ニシ二世皇ノ前ニテ馬ヲ鹿ト云テ群臣ヲ試ミタルニ喻ス

銜フクム ○擢クク ○沮ム ○内侍所神樂ナイスミカハラ内侍所ハ在温明殿神靈鎮祭ノ所ナリ

○孝信タカノブ ○弓場殿ユバド校書殿北清涼殿南 ○中第ナカダイニ及第二

御書所ゴショ式乾門内侍從所南 ○參預サンヨ ○神鏡大刀契焚シンキョウダイタキヤク

神嘉殿シンカデン中院正殿 ○太政官朝所タヤカウチヨ朝所トアリ

宸筆宣命シンヒツセンミツ宣命ハ祭文也 ○質直シツチカク ○佐理サリ ○三蹟サンセキ

階カイ 級尚卑キウナガヒクシ階級品位ナリ ○超擢テウタク ○足職獻ソクシキケン

納ナツ 納言ナツノ ○資望シバウ ○登庸トウヨウ ○愆失ケンシツ ○客星カクセイ

星セイ 仁王百講ニワハコバハコ百僧シテ仁王護國般若經ヲ講セシム ○神鏡シンキョウ 内侍所

○大流星ダイリウセイ一名奔星光跳相連曰一 ○仁王會ニワエ 百講百講ニ

○禳星變ハラフセイヘン

論災異 ○警戒 ○恐懼修省 ○天譴 ○

堯キヤウ 名 放勳 ○洪水コウスイ 堯ノ時九年ノ洪水アリ ○湯タウ 殷王 ○大ダイ

旱カン 湯世有 ○大戊タイボウ 中宗ト云フ ○桑穀サウコク 桑穀朝ニ生シ暮ニ大サ

拱ナリ太戊徳ヲ修ムニ ○高宗コウソウ 名ハ武丁 ○咼雉クヱチ 武丁祭ラ

雉ノ鼎ニ上リテ咼ク武丁懼 ○責諸身反諸己 ○祈キ

禳禱ジヨウトウ ○冀苟免ネガフコウ ○羅祝融カルクシヨク ○右コウ

族ソク キサキ ○丁寧告戒 ○釋氏シヤクシ ○讀經ドクキヤウ

侮ブ ○神鏡焚シンキヤウ ○寶劍沈ホウケン ○陵夷之リョウイ

漸ゼン

○持律精嚴 ○志操 ○寂昭 ○如宋 ○定テイ

基 ○大江齊光 ○所齋トコロモラス ○上寺ジョウジ ○

東帛 ○圓通大師 ○三司使 ○丁謂テイイ ○

渥 ○智禮荅釋チリ ○姑蘇山水 ○吳門寺モ

○荅釋カシヤク 即智禮荅叙也 ○源信 ○月俸ゲツホウ 俸給也 ○言語稍ゲンギョ

通 ○戒律精至 ○三吳サンゴ 地名 ○道俗ダウゾク 僧俗人 ○黑コク

金水瓶 ○提携三五載 ○釋夜漸 ○鄒銀ソウギン

敏捷ビツ○每ツネニ○不德トク○永祚エイ○正曆シヤウリヤク○長德ナヤウ

○長保ナホ○寬弘クワン

三條天皇

居貞オキ○第二子ニシ 第一華山 帝次ニ帝 ○母ハハ藤原超子トハラノハコ ○諸モロ

貳ジ○敦康親王アツカス○戚族セキゾク之援ノエ○二宮ニミヤ 敦成親王也

○妍コ子コ○枇杷ヒバ中宮ナカミヤ 枇杷第二居ル ○娥ニケ子コ○

濟時セイジ○敦明親王アツアカラ○揣知ハカリ○冊立サツ○延臣エンシ

○忿フシ恚イ○實資サネスケ 知名大 ○隆家リョウカ 道隆 ○朝會チヤウカイ

朝廷ノ儀式 ○累ルイ世セイ權戚ケンセキ 戚ハ外戚ナリ ○黃ワウ綠リョク攀パン附ツ マツハリ

ヨリス ○侃然カンゼン 侃正也剛直也 ○回クワイ避ヒ キヲオ ○忠チユウ

憤フン○倚イ賴ライ○齊敏ナリ○匡マサ衡ヘイ○重光シユウキョウ○維時イ

○冠クワン世セイ 冠絶也 ○識シ緯イ 言將來之驗也 ○沈チン滯テイ

官位ノス ○轆カ轤カ 車ノ行ニ自由ナラス人ノ志ヲエサルニタトフ晋書曰陳壽沈滯轆轤 ○松マツ

下曹司シヤウソウシ○京官除目キョウカンジヨモク 職原抄註ニ云ク春除目云縣召除目秋除目云京官除目公事根源ニ

云ク京ニアル諸司ヲ任ゼラル、故ニ京官トハ申ス云々ツカサメシトハ秋ノ除目ヲ申ス也トアル是也 ○直廬チキロ トノ

也 ○歲星サイセイ 木星也廣雅歲星木宿之重星 ○經キョウ○失明ウシツミョウ 本書金梭丹ト云フ藥ヲ

キコシメシテ御眼
ヲヤミ玉フアリ ○少臨御 ○數諷去位 ○慮爲

其所忌 道長ノタメニ忌ル、 ○意不自安 ○決意脱

履 天子ノ御位ヲ ○長和

後一條天皇

敦成 ○第二子 第一敦康親王 ○母 道長ノ女諱彰

號 ○上東門 陽明門北 ○公季 ○頼通 ○班

坐列 ○長幼失序 ○在廷臣僚 ○無起居東

宮 皇太子ノ宮ニ出入 ○東宮僚屬 ○懷顧慮

ヲス ○不敢供其職 ○寂然 ○可設

雀羅 前漢書鄭當時傳曰門外 ○能信 ○允 肯也ソノコフ

○小一條院 居所ノ名近衛南 ○封戸 仍舊 封戸ハ

時ノマ、 ○給年官年爵受領吏 年々官爵ヲ給フテ

ルヲ年官年爵ト云フ 或ハ其人ヲ給ヒ或ハタゞ官爵ノミヲ賜フモ

ノリ受領吏ハ國ノ守介等ヲ給フ也孰レモ其俸ヲウケシメン爲ナ

リ除秘抄ニ云ク爵一入内官一人掾一人目一人一分三人トアル是

也一分ハ史生ヲ云フ後世諸太夫ト云モノモ此年官年爵等ヨリ
創マルト ○慰安 ○寛子 ○故事 ○壺
切劍 ○有司 誓緩 ○不終

論擁立イウリフ擁抱モリタテル也也○升遐シヨウカ崩御ノ○陵リョウ土未乾イダカワカ○拱キヤウ

默モクテヲクミダ
マツテタル
○陵替リヤウテイヲトロヘタル

威子イッコ○女真賊ジヨシンノゾク女真ハ刀イロハナ伊國ナリ
○冠カウ○襲芳舍シウハウシヤ在凝華在凝華舍舍地地○

藍園ランエン愛宕石アヘヅノ○賞格シヤウカクオンシヤウノサダメ
○購索コウサク購求也○驛奏エキソウ逸驛ニテマヲシタル

○理忠リチュウ○虜掠リョリヤク○侵オカス濫師掠境日○怡土郡イドンノ○太宰師ガザイノソツ○

前少監サキセウゲン小監ハ大宰府ノ属官
○大藏種材オホクラノタネ種光ノ子○明範メイノリ○春實ハルサネ○

敕符チヨクフ○捷セフ○賞募シヨウボ賞ヲ與ヘテ無ラツノル
○實資サネスケ○駁ハク○雖微必イヘドモミナリトモミエ

賞シヤウ○文室善友ブンヤノヨシトモ○有功可錄アハコウクベキロク書ニシルスポトノコウガアラハトナリ
○齋トキ

信ノ誠信ノ子○聽ユリス○濟信サイシン○牛車ギウシャ○南蠻ナンバン○教ノ

通ミチ○頼光ヨリミツ○英武驍勇エイブダウユウ○將畧シヤウリヤク○東宮大トウグウダイ

進ジン進判官也ジヤウト訓也○侍直チヨク○一發イツハツヤヒトスデニテイトメタルナリ
○寮レウ

馬バ左右馬寮ノ馬也
官馬ト云ニ同ジ
○頼信ヨリノブ○鬼同丸ドウマル○不嚴其ガルゲレセリ

縛バク縛ハナハメナリ○鐵鎖テツサ○醉卧スイガ○脱鎖ダツス○藻井サウセイ埤雅埤雅曰屋

上覆撩謂之ト也
クミテンジヤウノ
○鞍馬クマ山城國山城國○市原イチハラ同同○野ヤ

牛ギウ○源綱ゲンカウワタナベノツナハリ
○公時キョウトキ○定道サダミチ○季武セイブ○

突ツツ然ゼンッキイ
○揮フル○挺スラ○三朝サンチョウ后ユウ彰子妍子威子○攝セツ

關賴通攝政 關白トナル ○政柄歸已 ○黜陟任心 ○錫タカ

資重疊ライチヨウゾウ ○富過王室トミスク ○瘠ギヤク ○僧綱ソウコウ 正僧タカ

僧都律師ソウドリシ ○祈禳キシヨウ ○賞絹シヨウケン ○羅災カササエ 火災ニ ○課カス

謂之イノリ ○乾臨閣ケンリンカク 神泉苑シモンエン 正殿也 ○佛乘ブツショウ 佛書 ○法ハフ

成寺ジョウジ ○京極キヤウキョク ○病革ヘイカク 前ニ ○雅度ガド ○殿デン 上シヨウ 下ゲ

○實方サネカタ ○投之中庭トウスコレヲナウテニ 本書小庭ニナケ ○神色シヨクシヨク 自ジ

若シヤク ○小吏セウリ 小吏コウリ 本書歌枕ミテマ申レトテ ○隔牖ヘクヨウ

本書小部ヨリゴラン ○疏斥ソツセキ 中將ヲメシトリテトアリ ○忠チュウ

常ツネ 忠賴ノ子岡村 五郎ト稱ス ○反ハン ○惟忠ヰチュウ ○少尉セウジウ 判官 ○直方ナホカタ

維時ヰジ ○少志セウサカン ○中原成道ナカハラナリミチ ○搜索ソウソク ○家僮カドウ ○

仁義ニンギ ○閑院祖カンインソ ○豐樂院壇上トウラクインダンジャウ ○光業ミツナリ 仲光チュウコウ

○印イン 國ノ印章コクノインシヤウ ○鑑ケン 鑰ヨ ○國吏コクリ 國司 ○營宅エイタク 伊ヘノツ

過制スグセイニ ○版築バンシク 伊タヲモテカ ○檜皮ヒバ ヒノキノカハモ ○

追討使ツイトウシ ○坂東バントウ 關東ナリ ○耽羅タンラ ○漂ヒヨウ ○給糧キョウリョウ 放ホウ

還カン ○惟基ヰモト ○依阻イシュ 嶮隘ケンアイ ○軍鋒グンホウ 甚銳シヤンジュン ○粹サイ

攻コウ ○鹿島カシマ 常陸國 鹿島郡 ○列疊壁レツシヨウ ○收舟シュフネ 檣シヨウ ○濟セイ

○大中臣成平 ○利害 ○攻戰

○環 ○紀音緩失機 本書此海ノヤ、ニメグリテヨセハ日比ヘナ
ニ其間ニヨセラレヌカアヘモセラレニトアリ

○如直濟 ○一鼓而拔 ○真髮高

○文 ○熱矣 ○標 ○葦 ○亂渡日 ○惶

○遼 ○津度 ○弗豫 書曰克商二年 王有疾一 ○寬仁 ○治

○安 ○萬壽 ○長元

後朱雀天皇

○敦良 ○母弟同母 ○皇太弟 ○保昌 ○致忠

○脊力 脊骨也 ○齊名 齊等也 ○微行 ○大盜

○袴垂 ○劫 ○繞 ○踵行里許

○抽刀 通 本書乃又キテ走

○徐行 徐緩 本書心モウセテ我ニモアラデ 石多見 庸ニ譬フ

○絮衣 本書綿アツキ衣一ツ 京極院 土御門 京極西

○行火 行入 ○惟憲 ○形質 ○銷亡

○灰燼 ○陵夷 ○兆 ○太政官 朝所官廳 朝廳 除目 ○大人 怪異 四季屏風 四季繪

ヲカキタ
ル屏風也
○警悸ケイキ 悸心動也ビク
○風度明秀フウト 明秀
○嚴峻ゲン 峻

峻ケイ 峻
急也
○施為シ 施
○憾カン 憾
○長曆チャウリヤク 長曆
○長久チャウキウ 長久
○寬德クワントク 寬德

後冷泉天皇

親仁チカヒト 親仁
○母ハハ 藤原嫡子
○違豫イヨ 不豫
○頼通ヨリミチ 頼通
○非アラズ 非

其出ソノシヅニ 藤原氏ノミハラ
○能信ヨシノブ 道長ノ
○探知タンチ 後朱雀帝
○且緩シラクニユク 且緩

口ヲ探リロヲサグ
知ルナリ
○二宮ニノミヤ 尊仁親
○付何僧ツケニ 付何僧
○忠恪チュウカク 忠恪
○入内ジュダイ 入内

愆慝シユウヨウ 愆慝
○傳フ 東宮
○資性セイセイ 資性
○忠恪チュウカク 忠恪
○入内ジュダイ 入内

阿オモナル 阿
○權貴ケンキ 權貴
○上東門院ジャウトウモンイン 上東門院
○入内ジュダイ 入内

大内ニ入り
玉ヲアイフ
○要一時ヨウイチツ 要一時
○名輩メイハイ 名輩

○裝ヨソボフ 裝
○選首センシュ 選首
○御製ギョセイ 御製
○拒不作クニテヤツクラフ 拒不作

○列卿レツケイ 三位
○華胄クワツ 華胄
○廷尉テイキ 檢非違使
○常流ジョウリウ 常流

ト
○阿從アジウ 阿從
○懇祈コンキ 懇祈
○操行サウコウ 操行
○姍笑サンシヨウ 姍笑

也笑
○失火シツクワ 失火
○曠達コウタク 曠達也達通也
○携タツケ 携
○一笛イツフエ 一笛

テ車ヨセヨトテ出
タマヒニケリ云々
○曠達コウタク 曠達也達通也
○賢右府ケンウフ 賢右府

○小右記セウイキ 小右記
○大膳職ダイゼンシキ 大膳職
○教通キョウツウ 道長ノ
○頼宗ヨリムネ 頼宗

幼名
岩君
○清原守武キヨハラモリタケ 清原守武
○賀陽院カヤウイン 中御門南
○忠俊タムトシ 忠俊

從士シヤウ○逼セツ○御座ゴザ天子ノ御座所○齊賴ナリヨリ○土豪ドボウ地土

豪族ノ豪族○安倍賴時アベノヨリトキ初名初名○賴義ヨリヨシ小名ハ王小名ハ王○忠賴タツヨリ○

忠良タツヨシ○東夷酋長トウイノシウチヤウ酋帥也酋帥也○強大キヤウダイ○部落ブラククミ下ノ

白川關シラカハノセキ山城國山城國○率土濱ソトガハマ陸奥國陸奥國○衣川コロメカハ陸中國陸中國○形勝ケイシヤウ

形勢ノ勝形勢ノ勝○據險設關ヨリケンシモウクセキヲ○衣關コロメノセキ○跨有海陸コイウスカイリクニ○資產シヤン

豐饒ホウジヨウ○不輸貢賦バイタサコウフツ○不供徭役バキヤウセヨウエキヲ○不能制バアタハキヤクナリ國主トイ

イスルコノイスルコノ○登任ナリタフ○大赦タイシヤ○自新ジシン改心セシ改心セシ○視事鎮ミコトヲチン

守府シユフ國主ノ任滿タルヲモチテ鎮守將國主ノ任滿タルヲモチテ鎮守將○駿馬金寶シニバキンホウ○賂マヒナ

國府コクフ廳ノアル廳ノアル○阿久利川アクリガハ○斫シヤク擊也斬也キ擊也斬也キ○光ミツ

貞サダ○營エイチンヤチンヤ○宿昔シヨクセキ○貞任サダタラ○聘ヘイ○賤其イハムソノ

門地モンチ門地ハイ門地ハイ○意彼所為オモフニカレガシヨウサラス○收トラフ○闔族カフゾクイチグクイチグク

○河崎柵カサキノサシ○偵ウカフ○疲勞ヒロウ○裁ツカカニ○義家ヨシイヘ○大クイ

鏃箭ゾクセン○披靡ヒビ震伏震伏○張左右翼ハリササイヨウヨクヲ○斃賊帥タフスゾクマイラ○

任滿ニンミツ六年ノ任ミ六年ノ任ミ○良經ヨシツネ兼實兼實○齊賴サキヨリ○遷延ヘンエン望觀望觀

不決兒不決兒○猖獗シヤウケツムヤミニワガムヤミニワガ○中院ナカノチン神嘉殿神嘉殿○朝集テウシツ

堂ダウ應天門内應天門内○發アバク○磯長山田陵イソナガヤマダノミナキ推古天皇陵推古天皇陵○師モロ

實ザネ ○顧命コメイ 御遺詔 ○與東宮トウクウ 不協カナハ 尊仁親王ト心

○屏居宇治ヘイキョウ ○不預機務フゾカキ 本書ニ宇治ニ引コモリ玉

○高階經重カカシノツネ 明順ノ子 ○威名キメイ ○指揮シキ ○銳意エイイ

勦賊ソクソク ○清原光賴キヨハラミツヨリ 光方ノ子 ○武則タケノリ ○子弟シテイ 部下ブカ

○良照リョウセウ ○小松コマツ 羽後國ノ山本郡 ○逆戰ゲイセン 逆迎也ハカヘ

○進擊シンゲキ ○鳥海トリノウミ 柵サツ 陸中國ニ屬ス郡 ○尉川クワイヤタノ 柵サツ 陸前國ニ屬ス郡

○構譙樓カウセウ 羅ロウ 一ハ アゲ ○隍コウ ○布フ ○鐵蒺藜テツシツレイ 六韜ニ載

路微徑張ローキョウ 一ハ 品字箋曰ニ 一ハ 以鉄為之三角以傷馬足者是也 ○發矢石ハツスシ ○澆沸ソウホツ

湯トウ ○毀屋填塹コバナ 塹ウ 塹セン ○菱セウ ○縱ボウ ○煙燭エンロク ○樓櫓ロウロ

壘ルイ 柵サク ○蕩盡トウジン ヤケツ ○攢梓サンシ 攢ハ 集 ○千世童チンセドウ

○宗任ムネノリ ○家任イヘ タフ ○餘黨ヨトウ ○義綱ヨシツナ ○靜範ジヤウハン ○

狹城盾サキノタタミ 列池リキ 後陵キ 成務天皇ノ陵也 大和國添下郡 ○降虜コウロ ○

師房モロフサ ○咨詢シユン ○永承エイシヨウ ○天喜テンキ ○康平カウヘイ ○治

曆リヤク

後三條天皇

尊仁タカヒト○第二子タイニシ第一後第一後○陽明門院ヤウメイモンイン御名ハ御名ハ○

太政官廳ダイシヨウカン○新置莊園シンチノシヤウエン莊園ハ公卿ノ私領地ヲ云フ○御厨ミク

御贄ミニエ御厨ハ御料地ノ一○後院御贄ミニエ後院ハ上皇也○信ミチ

長ナガ教通ミチ○記錄所キロクシヨ天下新訟決斷ノ處○經歷世故ケイレイセコノコトニ

ユキワユキワ○總攬權綱ソウランケンカウ○權貴ケンキ○占シムル○靈害レイガイ靈害ハ

蟲也ソコナヒヤフルタトヘ○檢覈虛實ケンカクキョウジツ○定絹布制サダムケンフセイ○高陽カウヤウ

院イン前マヘ○定沽價法サダムコウバフ○定斗升法サダムトウシヤウ○欲審量ヨクシンリヤウ

制セイ○資仲スケンナカ資平ニ○督トク○準ジュン本ニ簾ヲ折寸法ヲサセ玉ヒケリ○

出納スナハダ小舍人コトネリ貫首以下藏人出納ナド見沙汰シテ小舍人ニ令計ケリ○敕倉院コクソウイン

二條南朱雀西在大學西納畿内諸國銅錢無主位職田及没官田太宰稻等諸庄物トアリ○遵用ジュンヨウ○宣セン

旨升ジマス○數縁事シバクヨルコトニタビノナニカノニツイテウラミヲカサネルナリ○含忍不カンジンズ

發ハツコラヘシノビテク○台輔タイホ三公ニ○備員而已ソナフルイニミ有名無實ナル

南圓堂ナンエンダウ○禁國司再任キンコクシノサイニラ本書ニ諸國ノ重任ノ功ト云事長ク停止セ

ラレケル○奮鬚フルヒテヒゲ本書ニ御ヒゲライカラシテトアリ○震怒シンダツ逆鱗ニ○外ソト

祖ソ本書ニ帝ノ外祖トアリ○峻拒ジュンキョキビシク○艱然カンゼン怒ダツ○藤原フジワラ

氏卿相悉罷シシケイニヤウコトクヤノヨ 本書ニ藤氏ノ上達部ミ
○春日神威

今日盡コンニチツク 本ニ春日大神ノ御威光ヲフウセ
○諸藤咸起シヨトウユトクタツ

本書氏ノ公卿ハマコトニ一入モノコラス皆座
○御扇ギョセン ○檜ヒ

柄藍紙ヒヤキガミ 本書御扇骨檜ニテ藍ヲ
○灸青魚頭塗胡アグセイギョトウラマルコ

椒シヤウ 本書ニ鯖頭ニ胡椒ヲ塗テ炙
○牽制ケンセイ ○勵精圖治レイセイラハカルチヲ

紀綱大張キカウオホイニハル ○居院決政ユリキニクツスツクコトヲ ○我邦不幸莫ワカクニフコウナシ

甚於斯シキヤウ ○教化被世キヤウカウフルヨミ ○隆リウ 盛也シヨウ ○承和延喜ジュワワニキ

仁明帝醍醐帝ノ
○延父エンキウ
御代ヲ云フ

白河天皇

貞仁サダヒト ○母ハハ 藤原茂子中納言公成ノ女
○宋主ソウシュ 神宗名項英宗ノ子
○成尋セイジン

贈金字法華經オウゴンホクキヤワ ○大藏經ダイザウキヤウ ○錦二十段ニシキニジフ

簪紱之冑シンフツノチウ 孫ト云フ
○石藏イハクラ 西京ノ地名
○文慶モンキヤウ

神宗シンソウ ○延和殿エンワデン ○修法シュホフ ○雷電閃鳴ライデンセンメイ ○

注ツ ○善慧大師ゼンエダイ ○驕恣過父ケウジスダニ 長ヨリマサル
○

極華麗キョクワレイ ○營エイ 二條第ニジョダイ ○宏壯コウソウ ○充塞街衢ジュソクカイ ○

踰制コルセイ 小キテニ
○固也コトナリ ○孰敢容議タカアエリシ 長カレコレト云

モノアラント ○領焉カスコレガスル ○以修麗相尚モツテシイラアミタツ互ニオコ

カチメ トスル ○宇治關ウヂカン白 ○香推廟カシノミヤ豐前國トヨノミチ ○土御ツチミ

門カド ○俊家トシイヘ ○能長ヨシナガ ○高麗王コウライワウ ○求醫モトミイ醫者イシャラ

○經信ソネノブ ○於我何與オイテワレニナシヤカク ○穎敏エイミン遇事アラテコトニ能斷ヨクダンニア

タリテ決斷ノスミ ヤカナルヲ云フ ○叢祠ソウジ中ナカヤブミヤノウ チト云フ ○將處サマシヨセトコ之法ホフニ

本書ニコノモノトガアリナシノ陣ノ 定ニ及テ諸卿サマノニ申タルトアリ ○白龍魚服ハクリョウギョフク見困ミクルシ

豫且ヨシヨシ文選西征賦曰被白龍之魚服コトニ懸豫且之密網ミツミツ注昔白龍化為魚豫且網

ニテ走り出タランヲ射タランハナ ニノ咎カアラント云フ心也トアリ ○宋商ソウショウ ○孫忠ソンチュウ ○錦キン

綺園キエン城寺ジョウジ近江國志賀郡三井寺ミヅノイナリ ○構怨カウスミ ○堂舍房ドウシヤボウ

宇○可バカリ ○藏ザン ○逮捕タイホ凶徒クワトラ ○蕩盡ダウジンモエテシ

大内オホウチ ○神嘉殿ジンカデン ○六條宮ロクジョウミヤ北六條南東洞院東 ○報牒ホウダク書版シヤバン

○俊房トシフサ ○顯房アキフサ ○師通モロトウ ○富士山フジサン駿河國富

郡 ○三條宮サンジョウミヤ本藤原濟家之宅トアリ ○建小司ケンショウシ本書每辻造ツキツクリ

○福德神フクトクジン本書其銘一長福神或白朱社 ○置酒チシユ縱飲ジョウイン本書上下群集グンシツ孟取

吏リ ○課クラワリツ ○徭役エウエキ ○宏敞鉅麗コウセウキョレイ宏廣大也

敬高也明也銀巨
也大ニニ類シキ
○工巧
○通俊
○後拾遺和歌

集此卷千二百十八首
○器度弘大
○剛決果斷
○政出

宸衷
○相門斂手三公トイヘ凡政ニ手ヲ出ストコロガナイ
○後三條

之風
先帝ノヤク
○備買本ニ輕政タリ職ニソナハリタガリナリ云々
○院宣

世
○形勢至此一變本ニコレヨリ古キスガタハ一変スルニヤ侍リケンホク
○慶佛

像
○建佛塔
○營造コクヨウギンキタク
○國用窘窮カヘル

○遷替六年交替ノルキオキテニ乖ケル也
○定任者交替セズテ勤メラル者
○萬

石萬匹米二万錢二万匹ヲ上ルモノハ國ノ守トナル所謂賣官是ナリ
○賤女子

○被文繡アヤモヤウノアルキヌヲキル
○倭麻カヅマリ
○承保ジョウボウ
○承

曆
○永保
○應德

堀川天皇

善仁
○第三子第一敦文親王第二帝也第三子恐誤
○母藤原賢子師實養女實父
○太上天皇先帝尊稱
○堀河院二條南堀川東

○義家
○清原武衡武則二子
○武貞
○荒川太
郎
○膽澤
○和賀
○江刺
○稗貫
○志波

皇明史略卷之二十一
職官部
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

○岩手イハデ○真衡サネヒラ○家衡イヒラ○清衡キヨヒラ○藉父祖ヨリフツ

餘業ヨガウニ○疆盛キヤウセイ○安忠ヤスタツ○成衡ナリヒラ○臣事シンジ○臣トナリ

テツカフルナリ○海道小太郎カイダウコタロウ○饋オクル○飲食金帛シヨウキンハク○

姑夫コフフ○吉彦秀武ヨシヒコノヒデタケ○齋酒饌モクランシユセツラ○圍棊キキ○徑タビチ

○衆寡不敵シウカフオニキセ○襲オツラフ○堡塞ホウサイ○協議ケイギ○協合

金澤柵カネザノサツ○羽後國山木ウヱノクニヤマキ○援エン○戮アス○矢石雨下ヤシウカ○

死傷シキウ○曠日持久クワツジツキウ○日ヲムダニシテ氣ヲムスミテス○令長圍レイスダウキナラ○柵ヲ

トリマイテトホセメニスル○食乏シヨクトホシ○襲領シツレウ○繼イテ○談征戰ダンセイセン

事コト○私言シゲン○渠有將才カレニシヤウサイ○兵法ヘイハク○金澤城カネザノシロ

○飛雁ヒガン○亂行ランコウ○江帥コウソウ○匡廓○伏フツ○伏兵○義綱ヨシツナ○有アリ

隙クキ○隙竄也○良真リヤマシ○東塔トウダウ○西塔サイダウ○横川僧コウケンソウ

徒ト○坂下サカモト○日吉ヒノヨシ○神輿シンコ○賴治ヨリハル○神人シンジン

田樂デンガク○俗樂ノ一種高履ヲハキ刀ヲ拔テ舞フ○朝野テウヤ○カミモ○錦繡キンシユ○

饒カサル○奇服キフク○メツラシ○誇尚コウシヤウ○郁芳門院イウハウモンニ○白河帝皇女齋宮准

三后御ミサノミ○凶徵キウシキウ○仁和寺ニギハヤシ○覺行カクキヤウ○白河帝三子母典侍經子

法親王ハフシンナシ○絲竹シシツ○コトフ○進文學之士シンブンガクノシ○點シツク

皇明史略卷之二十一
職官部
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

勢利之徒○肅然○後二條關白○閼門

也○忌憚○忠實師通○雅實顯房○後宇治

○義親義家嫡子○劫掠鎮西本書ニ横行鎮西一宛陵

總攬乾綱○諸司奏案夜必覆視○有可

疑者御批再令商議本書職事ノ奏シタル申文ヲ皆メシ

シテ所々ニハサミガミヲシテ此事タツヌベシ此事カリネテ問フベシ

○普天之下○不愧於古○寬治○嘉保

○永長○承德○康和○長治○嘉承

鳥羽天皇

宗仁○母藤原茂子權大○目代○官物○正

盛貞盛○擢擢甲擢○日吉神輿祭神ハ大山咋命

○小字ヲサナ○源太○有身○石清

水社○八幡太郎○一小冠者本書ワカキ小雜

相供シタリ○挺刀突入○南庭本書南殿ヲ走

甲士ヨロヒキ○堅甲三領○一發洞貫○義

忠義家ノ○義明○重時○義綱○甲賀山

帝ノ七子 ○孔廟コノミヤ ○家忠イヘタツ 師實ノ ○有仁アリヒト 輔仁親ノ ○音オン

律リツ ○涉覽セツラン 古記コキ 涉經也セツキョウニヒロ ○典故テンコ 古事コシ ○修シユ

容儀イヨウギ 本書御容儀ホンショゴヨウギ メデタクマシク ○修飾シユシヨク ○一時化イツジクハス

風ノ 本書上下同シ風ニゾ ○朝服テラフク 有稜アルリョウ 烏帽ウバ 有額アルガク 本

製束ノ コハダナリ烏帽子ノ 額ノ ナド ○内嬖ナイヘイ ○美福門ミフクモン

院ニ 藤原長實ノ 女名ハ得子コ ○寵幸チヨウコウ ○天仁テンニン ○天永テンエイ ○永久ユウキヤ

○元永グエンユイ ○保安ホアン

崇德天皇

顯仁ケンニ ○待賢門院テイケンモンイン 中納言公實ノ 女藤原瓊子ノ ○素饌ソシヤク

○金葉和歌集キンエワカシュ 十冊六百四十九首 ○俊賴トシヨリ ○造語ゾウゴ 新奇シンキ

コトバツカヒノ ○體製タイサイ 溫雅オンカ テイサイノヤサシク ○一イツ

時士人トキシジン ソノトキ ○宗師ソウシ トナス ○忠盛タダモリ 正盛セイセイ ○

上皇シヤクタツ 鳥羽ノ ○理萬機リスバンキ 理ノ 幹ノ ○一イツ 效法コウホフ 皇スミマ 白河上皇モツハラ

ニナ ○義親ヨシチカ 義家ノ 嫡男ノ ○處ヲク ○鴨院カモイン 二條南室町ノ ○真シン

偽未決イミケツ ○光信ミツノブ ○光保ミツヤス ○宗忠ムネタカ ○新制シンセイ 十ジフ

四條シジョウ ○花山院クワサンイン ○賴長ヨリナガ ○最後サイゴ ○鍾ショウ

愛○薙髮○速禪位○稱皇太弟體仁親王ハ

バナ ○議當否○中使相踵禁中ノ使ガヒキツ ○

薄暮○劍璽神器 ○二宮鳥羽法皇ト ○不相協ス

御中親シ ○天治○大治○天承○長承○

保延○永治

近衛天皇

體仁○第八子百練抄紹運錄等ニヨルニ第六子也第一

後白河帝第五本 ○有仁輔仁親王長子 ○衣冠裁製○

花園左大臣 ○禁内 ○實行 ○雅定 ○文

書 ○不相能ナカバ ○兄弟相軋兄弟フワニテ

○猜忌 ○疏 ○朱器臺盤公事根元裏書曰藤原

臣冬嗣公之御物在勸學院長者初任之時渡 ○氏長者長者ハ宗

○經濟天下ヲサ ○自シ 許シテアル ○非 ○刑部

卿 ○寵姫 ○祇園女御 ○微服潛幸 ○北

面 ○夜叉梵語神鬼類亦暴惡或 ○頭髮ハツ 髻サ ○北ホク

○如束銀針 ○忽明忽滅 ○畏怖 ○捉 ○

皇朝通志卷之七

徑前テニス○點アカリヲ○麥バク稊カン○手テニシ火カ器ヒイレヲ○

鬼物キブツ○眇バウマイツ一目モクヲ○伊勢イセ瓶子ヘイジ○酢ス甕ガメナリ也○

康治カウチ○天養テンヨウ○久安キウアン○仁平ニヘヤウ○久壽キウジユ

後白河天皇

雅仁マサヒト○第四子ダイシ第一崇德帝第二通仁親王第三君仁親王○母弟ボテイ同母弟ナリ

○重仁親王シテヒト母兵衛佐局大藏卿行宗女實法印信綠女○當承統マサニシツトウ○呪ミコ

詛ソ○慇懃シヨウシヨウ勸也勸也ス、○四宮シノミヤ○微ヒニメシテ而無聞オナキコエ○

愕然ガクセシ驚遽也ニハ○幼失恃ヨウシツチ恃ジ母ト○所鞠ラルキョク養育ヤウイクセ○

入臨ニリ○惟方レ顯ニ稱遺詔ニ拒而不納コトナシ

大恚オホヒ恚恨ヒ○以古モテイシ揆ハカル今イマ本書昔ヲ以テ今ヲ思フニトアリ○位イ忝カシケクダ

萬乘マンジョウ本書ニ我身德行ナシト雖先帝ノ太子ト生レ萬乘ノ宝位忝ストアリ○尊居上皇ソンタルニヨウクワウニ○

皇統所繫クワムトウ○非重仁而誰アラシメテニデヒト○匪文匪武ヒブンヒブ本書文ニ

モ非ス武ニモ非ヌ四宮ニ越ラレテトアリ○父子懷憂フシイダウウレヒ父子トモニ憂ニ沉ムトアリ○欲乘ホツム

此機而舉大事コノキニ○賛成其事サンセイ○謀ボウ頗スナラ外泄ガイシ○義朝ヨシトモ

疑ナシト悦テ尤思召立所然ルベシトゾ勸メ申サレケルトアリ○謀ボウ頗スナラ外泄ガイシ○義朝ヨシトモ

○少監物セウケンモノ○光貞ミツサダ○鞠キク○騷擾ソウジョウ○義康ヨシヤス義國ヨシクニ

○義康ヨシヤス義國ヨシクニ

皇朝御紀
卷之十

○警衛禁内ケイエイスキンダイ ○基盛モトモリ 清盛スエサネ 季實ノ子 季範ノ子 ○

維繁コレシデ 維賢ノ子 ○近畿諸路キンキシヨ ○兵士齋ヘイシモタラシカフ 甲ノ子 ○鳥ト

羽宮ハノミヤ 山城國紀伊郡シユスハフエラ ○修法會シユスハフエラ 於田中殿タナカドノ 本書故院ノ子 七日二

當り玉ヒケレバ大夫史師經ニ仰セ付 ○法會ハフエ ○上皇ジヤククワ

テ田中殿ニテ御佛事行ハルトアリ ○教長ノリナガ 忠教ノ子 ○

不臨スリン 新院ハ一所ニワタラセ玉ヒナガラ御 ○託言齋院行啓タクンコトフサイインギョウケイ 本書齋院ノ行啓トゾ ○白河前齋シラカハノサキアサイ

院第キンタイ 白河殿ハ山城國紀伊郡岡崎ニアリ ○信兼シラカハノサキアサイ ○櫃川ヒツガハ

本書ニ信兼ト云武士櫃川ノ邊ニ行向テ ○問行カンフツ カクレテミチ ○

矯遺キョウイ 詔シヨウ 本書女院御謀ヲ以テ掖院ノ御遺誠ニ任テ内 ○清キヨ

盛モリ ○老矣ガイタリ ○爲義タダヨシ ○嚮サキニ 先也響サキニ ○男山ヲトコヤマ 岩清水ハ

家藏イニオサ 名甲マイコフ 本書月數日數源氏産衣ハ龍澤源薄 ○焱風ハヱフウ

本ニ風ニ吹レテ四方ヘ ○拘忌至是コウキイタルコニ 武將ノ身トシテ夢見物忌ナ

散トミテ侍ルトアリ ○頼賢ヨリカタ ○頼仲ヨリナカ ○爲成タナリ ○爲朝タナトヒ 四郎左工

郎掃部助頼仲賀茂六郎爲宗鎮西八郎爲朝源九郎爲 ○陳策チンサク ○據コ

宇治ウヂ ○撤橋テシハシ ○甲賀山カフガヤマ ○乘輿シヨウ 幸關東耳

○忠正タダサ 正盛コリノリ ○頼憲ヨリノリ 行國ノ子 ○家弘イヘヒロ 正弘ノ子 ○分守フンシユス 四

門モン ○議戰略ギセシノヤヲ略 ○屢履行陣ミシクフムコウチンヲ 大小ノ合戰數ヲ知ラズ

餘箇タカマツドノ ○高松殿 ○縱火三面要之一方ハナツセヨサンメンニヨウホコレヲイツハクニ三方ニ火

度也ニ支エン ○屏弱直以鎧袖披拂耳ニトアリ センジヤク タビナモチテガイシユヲヒ フツセンノミ 清盛ヲドカヘロク 矢何程ノ事カ候ベ

○取鳳輦徙此地トリホウレンヲウツシコノチニ 爲朝參向ヒ行幸ヲ 此御所ヘ成シ奉リ

○東方未明事已定矣トウバウ イマダアケ コトステニサダメラン イマダヨノアケザラン前ニ 勝負ヲ決セントアリ

○辭氣慷慨キ カウガイ 爲朝ガ申シヤウ以ノ 外ノ荒儀也トアリ ○無所回避ナシトコロカイ 憚ル 所モ

○可輕易舉事哉ベケン ケイイニ アゲ コトヲヤ ○料應黎明來ハルニマサニレイメイキタリ

○阿兄曉兵機アケイ サトル ハイキヲ 義朝ハ武 畧ノ與義

○來襲オモク ○吾屬爲虜ワガタラシキナラシメラル

吉野法師 ○寧樂大衆ヨレノホフシ イハユル興 福寺ノ僧

○論先人有棄人之心サキニスベトニアリウハフヒトノコボ 項羽本 紀ノ語 ○未必不得イマタカナラシモスンハエ

○安倍野アノノ 國 屬津 ○奇策キサク ○剛カウ

○安倍野アノノ 國 屬津 ○奇策キサク ○剛カウ

○坐失機會サレテウレナキ ○二子ニシ

○煙燭漲天エンシクミチサケテ ○不マ

○可復支ベカラマサユ ○倉黃クラウ ○不勝騎マニノリテユキタマフ ○

信實信範 ○重騎扶掖本書御馬ノ尻ニ乗テ抱キ邁ラストアリ ○如意

山江州志賀郡ニ屬ス ○嶮艱山路嶮クシテ難所多ケレバトアリ ○徒步御馬ヲ止

テ御歩行ニテヅ ○委頓謂挫傷折懷本書ニ御足ヨリ血流レテ歩煩ヒ至ヒケリ ○既

敗自取 ○疲困ツカレハテ ○追兵 ○祇為朕累

○鳴咽オニツナゲキムセブ ○昏暮 ○無舍匿者ナレシヤチクヌモノカクシオクモノナシ

○智足院山城國愛宕郡 ○湯粥怪シゲナル僧房ニ入進ラセテオモ湯ナドヲゾ羞奉

ルケ ○覺性法親王仁和寺宮鳥羽帝弟五皇子ノ上皇ノ弟ナリ ○重成 ○衛マモル ○防護 ○欲拜陵 ○陽定叛人鼠

流 ○叛徒 ○祝髮 ○行刑為義ヲ ○黨與同類

○諒闇 ○宥赦 ○淫刑シオキノミ ○中原師

信 ○發驗 ○賴長墓大和國添上郡河上村般若野ノ五三昧也トアリ ○觀

曉堀河帝ノ皇子仁和寺華嚴院ニ住ス ○兼長 ○師長 ○隆長 ○

檢上皇東洞院書庫本書ニ新院ノ中御門東洞院御所ニ建ラレタル文庫ドモヲ出

納知兼フ以テ檢 ○一匣手箱一合アリ ○封滕甚密本書ニ御封ヲ

附ラレテゴヒソウト覺エタリ即觀覽アルニ御薨想ノ記也其中ニ度々重祚ノ告アリ其度ゴトニ御立願アリテ甚深奇異ノ事ドモヲ

記シオカセ玉ヘリトアリ

皇朝典章 卷七

論^{シヨウ}祥^{シヨウ} ○周禮^{シユライ} ○占夢之官^{センハカン} ○播遷^{ハセン} 天子ノ

ヒタマ^フ ○羣兇^{クンキヤウ} ○吉兆^{キツチヨウ} ○無名之師^{ムメイノシ}

○實能^{サネコシ} ○宗輔^{ハネスケ} ○伊通^{コレミチ} ○記錄所^{キヨクドコロ} 天下ノ訴訟ヲ決斷スル

○參決庶務^{サンケツスス} ○公教^{キンキョウ} ○德大寺^{トクダイジ} ○圯壞^{イクワイ}

○廢闕^{ハイクワン} ○繕治^{センチ} ○勞擾^{ロウジョウ} ○修治^{シユゲ} ○日夜^{ニチヤ}

計畫布算外聞^{ケイカクフサンガイブン} 本書テツカラ終夜算ヲオキケル後夜方ニハ算ノ音鳴ケルトアリ ○殿^{デン}

堂^{タウ} ○門廡^{モンブ} 廡門屋也 ○諸司八省^{シヨシハツシヤウ} ○踰年^{コヘトシ} ソノ來年ニナル

○内宴^{ナイエン} 一トハウチノ節會也正月廿一日仁壽殿ニテ行フ大ハドモ題ヲ給ハリ詩ヲ作り御前ニテ講セラ

○建白^{ケンハク} ○通憲^{ツウケン} ○宏才^{コウサイ} 宏廣也 ○練達^{レンダツ}

乳母^{ニウボ} ○相撲^{ソウフク} ○昏闇^{コンアン} ○亂逆^{ランギャク} ○相踵^{ソウシュ} 踵ハ繼也

跋扈^{バツコ} 一猶強梁也ホシイマニ威フルフ ○無綱維^{ムコウイ} シマリノ ○保^ホ

元^{ゲン}

二條天皇

守仁^{モリヒト} ○母^{ミハ} 贈皇太后懿子經實卿ノ女 ○太上^{タウシヤウ} 天皇 ○重盛^{シゲモリ}

○近衛大將^{キンヱダイシャウ} ○華胄^{クワチウ} ○唐安祿山^{トウアンロクサン} 玄宗ノ時ノ叛臣前ニ出

○姻^{イン} 婚姻也 ○居常^{キヨジョウ} 鞅々^{ソソノ} 一不満足也コ、 ○結^{ケツ}

皇朝典章 卷七

百三十七

納マシハリヲ

○經宗ツネハネ

經實ノ

○成親ナリチカ

家成ノ子

○陰相イニ

結ムスブ

○如熊野ニククマノニ

○三條殿サンテウノ

○一品イツボン

御書所シヨドコロ式乾門内

在待從ニ

○黑戸御所クロドノ

禁中滝口シヨ戸西アリ

○白虹貫日ハクコウツラスクヒヲ

上ヲ

謀ルノ

○天文推步テンモン

天度ヲ推カテヘル

○不得エ

面陳メンチン本書折フ

シミアッビニテ子共ミナ御前ニ伺候ミタリシカバ其興ヲサマシ進ラセンモ無骨ナレバ或女房ニ仔細ヲ申オキテ罷出ニケリ

天變テンヘン

○信樂山ニガタキヤマ

近江ニ

○見星變ミルセイヘン

本星壽令家ニアリ大伯經典

ニ侵ス時ハ忠臣君ニ代リ奉ルト云天變也トアリ

○穴地自瘞アナチチミツカラケツム

イキナガラウツメラル

○竹タケ

筒トウ

○通氣息ツウキキ

○光保ミツホ

○義平ヨシヘラ

○非藏人ヒサウジン

尹明コノ

○奉迎謀ホウエイボウ

天子ヲ迎ントスルハカリ

○藻壁門サウヘキモン

西中ノ御門

哀アイ

本書ニ仁和寺ヘマキリ昔ノ御惠ノ餘波ナレバ御助ユソアラントテ頸ヲ延テ参タル由申シ入ラレタリトアリ

○手書シユシヨ

信賴ヲハ助サセ給ヘト御書ヲ進ラセ給ヒシカドモトアリ

○視ウバフ

○反黨ハントウ

○矯詔コウシヨウ

○群卿グンケイ

○光賴ミツヨリ

季隆ノ孫中隆ノ子

○束帶ソクタイ本書アサ

ヤカニ束帶引繕ヒ蔣繪ノ細太ヲオトナシヤカニ帶玉ヒトアリ

○長方ナカカタ顯長ノ子

○列群卿レツグンケイ

之上カミニ

信賴卿一座シテ其座ノ上薦達皆下ニツカレタルトアリ

○朝班テウハン

何無位次ナニジナキイシ

今日御座席ユソ餘ニシドケナク見ヘ候フトアリ

○畏怖イフ

○色沮イロハム

右ノ袖ニ居懸ラレテフシ目ニ成

テ色ヲ失ハレケリトアリ

○厲色ハゲスイロ

○有旨アリシ上旨アリト云フ

○振衣而フルイヲテ

起○惟方○展也伸○至尾張尾張國智多郡野間ノ内海ニ著給フ

○長田莊司○忠致忠宗作ル○景宗○值歲

首シユニトシノハジ○壯士三人橘七五郎彌七兵衛濱田三郎ノ三人也○金

王金玉丸○女ト云フ壻○二代后ミナハ○恃勢弄

權○間隙也ヘ○寘置也シヨ○二宮不協皇

也ト帝○賴朝○朝長○賴盛○宗清○池尼

尾張守賴盛ノ母池禪尼トアリ○右馬助名ハ家盛賴盛ノ兄○早亡ソウボウ二十ニ才ニテ死ス

○閔傷○郎君年若キ貴人○修寘福

不肯ガヘセ○寢食失常本書胸塞リ湯水毛快ク飲レ

候ハバ云々トアリ○舍○竄伊豆蛭島田方郡北條ノ東ニアリ○伊東

祐親○北條時政○監監察○顯ケツモリヤス一本盛安

ウケツノ源五守康トアリ○耳語本ニ耳ニ秘○神之所祐本ニ君ノ

神ノ御計ヒト覺候識申ケル○全形本ニ御髪ヲ惜シマセ○領

點頭以應也○之子風彩非常本ニ人皆賴朝ヲミテ耶ザ

○異放虎本ニ此人ヲ伊豆ニ流シオクハ千里ノ○食邑美濃國多

紀莊半々ヲ賜フ云々○吾首不斷○吾髮不翦○公能○

基房モトフサ ○網紀コウキ漸弛ヤユル ○舊章キウシヨウ日廢ヒビニ ○曲キョク

者輪シヤリン之シコレヲ 車クルマヲツクルニ曲タ ○直者チヨクシヤハ轅エン之コレヲ ナガキ木ヲハ

安逸アンイ也逸遊 ○反側ハンソク之徒ト 叛黨ハントウ曰曰 ○落膽ラクタン 落膽キモヲツ ○

備豫ビヨ不虞フ 慮ニ變アラカジメ不不 ○安臥アンワ旁室ハウシツ ○事情ジシヨウ 世ノ

ノコト ○經濟ケイザイ之才ノサイ ○切事セツナリジ務ムニ トキノ事ガラ ○

大炊御門オホホノミカド ○宗能ムネヨシ ○闕門ミツモン 闕ハ充充 ○士女シヨウ操ソウ

作陳サクナン設セツ甚盛ヘンゲ 操作セウサハタチマハリ陳陳 ○喜動ヨロコビ顔色ウツカス 顔シヨウ色ヨロ

門庭モンテイ聞寂モンセキ 閑靜カンセイ也シツカニ ○俄頃ガク ○繁ハン

劇ゲキ ○偉度イド 度スグレタ ○法性寺ホフシヤウ ○謹厚キンコウ 厚シ ○

喜愠キウン 喜ヨロコブ 愠モ ○寺ジ榜ボウ ○基衡モトヒラ ○書法シヨフ精妙セイメイ

○法性寺ホフシヤウ樣ヤウ 書風ショフウノ一派ト ○讚岐院サンキイン ○松山マツヤマ ○

直島ナホシマ 本ニ國司クニノサト既ニ直島ト云所ニ御所ヲ造出 ○志度鼓シトノヅミ

岡ノカ 一本ニ嶋ノ和住居御ワヂウキミ數アリケレバ國司官人等ガ計ヒトシ

○窮居僻遠キウキヒクエン 本ニ四方ノ築垣キクツキ只ク一ツアケテ日ニ三度

○居常無キヨジョウム 本ニ四方ノ築垣キクツキ只ク一ツアケテ日ニ三度

集經大般若經シュツキョウダイハツパニヤウキョウ 華經涅槃經ケワキョウニハツキョウ ○請藏安樂壽院コウザンアンラクシュウイン 本ニ鳥羽ノ安樂壽院

キヨシ仁和寺御室ハ
申サセ玉ヒシ云々

○懺悔

最勝王經疏ニ云頻道
理不取作非故曰

○齒舌

出血

木ニ御舌ノサキヲ齧切其血ヲ以テ
御經ノ奥ニ御誓狀ヲソ遊ハシケル

○大魔王

日本

大惡魔ナラント
誓ハセ玉ヒ云々

○惱亂天下

本ニ玉ヲトリテ民トナミ
民ヲ玉トナサント云々

○

回向

同所作業趣向
於彼謂之

○削髮剪爪

○褐衣長巾

本ニ柳ノ御衣フス、クタルニ長頭中ヲマキテ云々

○顙頞瞋目

怒也恨也ハラクヒミ
バリメライカラス

○慘悴骨立

御色モキバミ御目モク
ボミ疲衰ヘ正ヒ云々

○春日河原

吉記曰以、為其所
保元合戰之時彼御所跡也

○兼實

○大宮大相國

平治

○永曆

○應保

○長寛

○永萬

六條天皇

順仁

○第二子

諸書ニア
ハズ恐誤

○伊岐氏

中宮育子忠道
公ノ女實伊岐

善盛

○新院

二條
帝也

○爭班

坐席ヲアラソツ
テイドミアフ

○浮言

無根
ノイ

ヒヲラ

○西光

名師光
家成子

○箝黙

口ヲトダ
テ居ル

○叔父

○

昭穆

失序

廟序也父子ノ
順序ト云フガ如シ

○忠雅

○未冠之

上皇

○淨海

○太政入道

○仁安

○

○

○第五子

○

○

○

○

○

高宗天皇

高倉天皇

憲仁ノリヒト○第五子ダイゴシ

百練抄紹運錄一モニ第三子トス
第一二條帝第三以仁王第三帝也

○雅ヤ

通ミチ○時子トキコ

二位尼ニ位ニ○積憤セキフン

○魁岸カイガン奇キ

偉キスグレテオホ
キナル

○意氣豪爽イキゴウソウ

○鎮西チンセイ八ハ

郎ラウ○總追捕使ソウツイフ

○舉州キョシュウ

○輪田リンテン○

重貞シゲタダ○斷臂筋タンビキン

○大島オホシマ

賀茂郡カモ郡

○五旬ゴジュン

○

臂創ヒソウ○

引箭加長ヒヤクカチ

本ニ肩ヲツクロヒテ後ハ少弱ク成タレド
モ矢束ヲ引事今ニ夕伏引増タリ云々

○三宅ミヤケ○八丈ハチヤウ

○美計ミツケ

○澳五島オキゴタウ

一本ニ大島ミ
ヤクノ島上津

島ハ丈島三ツケノ島奥ノ島
新島三倉島ナト云ハ島云々

○至一島イツトウ

本ニ鬼島トアリマタ此島ハ
渡タル駛ニトテ鬼童一人相

具モチシ帰ル

○茂光モチミツ

四郎太夫家次四子
伊東祐親ノ叔父

○刳腹コウブク

刳奢也ハ
ラキル

○秀ヒデ

衡ヒラ○

奧夷オウイ

○衰替スイタイ

○基衡モトヒラ

○女御ニヨウ

平徳子タヒラノアリコ

母ハ
時子

○宋明州刺史ソウメイシュ

刺史ハ
國守也

○稱謂ショウウイ無ナシ

禮レイ

稱号ノカキカ
タ無礼ナル

○清原頼業キヨハラノヨリナリ

舍人親王ノ孫大
外記祐隆ノ子

○虧國カクコク

體タイラ○

典故テンコ

故事ヲ
云フ

○援引ユイン

ヒキ事
スル

○辨折ベンセツ精セイ覈カク

ワキマヘタツシテハキ
トキマリヲツケル

○表出ヒヤウシュツ

ヌキイ
タス

○中庸チュウユウ

○禮記ライキ

○宋朱熹ソウノシユキ

○自然暗合シゼンアンガフ

本書ニ曰件年當淳熙己酉也
朱熹新註未渡時節也自然相

叶道理寺
特之至也

○ 染革

○ 沙金

○ 成親

推中納言家成子本三備前国

○ 成經

本ニ硫黄島
ヘ流サレトアリ

○ 康賴

平判官
ト稱ス

○ 俊寛

○ 鬼

界島

○ 僥覲

○ 宗盛

清盛ノ
三子

○ 鹿谷別

莊

本ニ洛東鹿谷後ハ三井寺ニ續キテ如意高ク
前ハ洛陽遙ニ見ワタシテシカモ民家ヲヘダテタリ

○ 静憲

信西ノ子

朱雀巷

○ 猜隙

猜疑也ウタガヒ
テフヲ生フル

○ 國忌

御齋會ナリ

將軍塚鳴

○ 土偶人

ツチ人
形ナリ

○ 衣以鐵甲

カフヲ

○ 東山

○ 頼政

頼政ノ孫仲政
ノ長子ナリ

○ 鷄

和名沼江
恒鳥也

○ 一

發中之

○ 忠恪

○ 沉毅

○ 哀

○ 浮浪

之客

○ 資賢

按察使大納言ト稱ス

○ 圍法住寺

殿

本ニ院御所七條殿ヲ軍兵雲霞
ノ如ク四面ヲ囲ム事三万騎也

○ 才藻英發

文才ノスグレ
至フヲ云フ

○ 剪枝爲薪

本ニカノモミヲ散々ニ折焼テ
酒ヲアタメテ飲テクリ云々

○ 叩頭請

罪

本ニ大ニ恐レ禁獄流罪ニモア
テントヲノ、キ居タリトアリ

○ 從容

○ 唐詩

白居易ガ
詩ニ林間

煖酒燒紅葉石
上題詩拂緑苔

○ 作此風流

本ニカヤウノヲバアサマシキ下薦ガ
シリケンヲヤサシクコソ云々トアリ

○ 哭聲

○ 妾主婦

○ 極艱

○ 無辭

以反命

○ 惻然

○ 色樣

○ 中宮御衣

○ 嘉應

○ 承安

○ 安元

○治承ダニヨウ

安徳天皇アントク

言仁トキヒト ○建禮門院ケンレイモン 平徳子ヘイトクシ ○以仁王モチヒト 後白河帝ゴウハクカ 第二子ダイニシ ○

仲綱ナカツナ ○駿馬シユンバ ○名木下ナキノシタ ○斬キン 惜オホシ ○不ズ 冊サセ 太子タチ ○

多タ 快ツク 々ノ シマシマ ○義主ギシユ 盟主メイシュ ○紫極シキョク 天子テンシ ノ

○侵侮シンブ ○憑凌ヒヤウリヤウ ○愛憎アイゾウ 任心マカスココロニ ○黜陟チュツシツ 由ユ 已レ

○七旬シチジュン 本ホ 二ニ 賴政レイセイ 七十シチジュウ 有アル 余ヨリ ○宗族衆多ソウゾクシユウダ 多タ 子息家人シユクシヤ アマ

行家ユキイハ 爲義ヒキヨシ ノ 十子ジュシ 新シン ○齋令旨サイレイチ ○首謀シュボウ 謀主ボウシュ ○兼カネ

綱ツナ 賴政レイセイ ノ 子シ ○高倉邸タカクラノ ○羸弱レイジャク ○如意峰ニイヨウホウ

○岩坂イハサカ ○櫻本サクラモト ○真海シンカイ ○困睡コンスイ ツカレテネ

墜馬オウバ ○知盛チモリ 清盛セイセイ ○重衡シゲヒラ 清盛セイセイ ○足利忠アシカ

綱ツナ 太郎タロウ 俊綱シュンツナ ノ 子シ ○自裁ジサイ 自殺ジサツ シテ 死シ ○井手渡イデノワタリ 山城ヤマキ

津川ツクラ ○中流矢ナカルリユウ 本ホ 二ニ 流矢リウシ 來キ テ 宮ミヤ ノ 御片腹ミカハラ 二ニ 立タテ タリ ケレバ 御馬ミウマ

○筒井明春ツツミアキハル 本書ホンショ 淨妙明ジュミョウミョウ ○眉尖刀メイセントウ ナギナ

走橋ハシ 架カ 趨捷也ソウセツナリ 本ホ 二ニ 橋ハシ 折セ ノ 上ウエ 上ウエ 走ハシ リ ワタル ○一來法イチライホフ

師シ ○渡邊省等ワタナベノハフクダラ 本ホ 二ニ 渡邊ワタナベ 黨トウ 三サン 省シヨウ 到トウ 覺カク 授ジュ 與ヨリ 競ケイ 死シ ○叢ソウ

射 ○後中院但馬 本ニ矢切但馬職禪 ○截飛矢

コレニヨリテ矢切但馬ト云フ ○披靡 ヒルム ○阿倍泰親 ○善

天文雜占 ○陰陽頭 ○咎徵不細 災ノ前兆ハ小事ニ非ストナリ

○褌 ○大鼬 ○遭廻 ○跳躍 ○八條

烏丸 ○幽摩 ○福原 ○賴盛 忠盛ノ三子池殿ト云

板屋 ハシオク三間板屋ニオシコメ奉リ云々 ○牢御所 ○兼隆 和泉守信兼ノ子

八牧判官 ○文覺 本名遠藤武者盛遠後出家シテ坊ト云 ○唱義舉 義兵ヲ奉

○校讀 校指也 ○唯唯遜謝 唯々諾也ウナツキ

一枯骸 ヒトツノサ ○觀 ○潜然泣下 トナキケリ

○嗚咽 悲泣氣咽 ○安達盛長 小野田三郎兼廣ノ子

石橋山 相模国足柄下郡 ○三浦義澄 大介義明二子矢部別當ト号ス

大庭景親 景宗ノ二子 ○檄 徵文 ○廣常 常隆ノ四子

和田義盛 義明ノ孫 ○土肥實平 下野守常宗ノ長子

誚讓 責 ○遲緩 ○指麾 ○義仲 義賢ノ次子幼名駒王丸

重能 佐父太郎重弘ノ子 ○孤弱 コビョクミナシゴニシテワカキ ○實盛 齊藤太實直ノ子

部曲 ブキョク ○中原兼遠 ○鞠育 也 ○雋異

高俊也 ○嬉戲 ○瓊偉 ○根井幸親 ○維盛

重盛ノ長子 ○忠度 忠盛ノ六子 ○富士川 駿河國 ○清見

關 同 ○足柄山 駿相兩國 ○忠清 上總介 ○烏合

衆 ノ兵ト云 ○遠踰險岨 ○危道 ○黃瀬川

駿河國 沼津東 ○兇懼 ○水鳥夜驚噪 政記鵝鴨群飛ニ作

踏籍 ○器械輜重 荷車也 ○常盤 ○

今若 ○乙若 ○牛若 ○鞍馬寺 洛北ニ在 ○覺 日

遮那王 ○譜牒 ○流落 ○剪

滅 ○書策 ○秀衡 清衡ノ孫 ○金商吉次

○鏡驛 ○加首服 元服也 ○義經 ○佐藤嗣

信 ○忠信 ○浮島原 駿河國 ○先君 本ニ故左馬頭殿トコソ

見奉候ヘトアリ ○鎌倉 相模國鎌倉郡 ○鶴岳宮 ○小林郷 ○

祖宗 ソノ家ノ先祖也 ○由比郷 ○新都 福原ヲ云フ ○兩京

利害 平安ト新都ト ○長方 葉室頭長長子 ○抗議 ヒタツル

○敢 勇敢也 ○回避 スル ○天意 可回 ○禍亂

可頭 ○悔悟 ○山本義經 佐竹義業ノ孫父ハ遠江守義定 ○柏

木義兼ギ コシカネ 義經ノ三子判官
○所ラル讒ザン構コウセ ○新ニシタ田タ義ヨシ重シゲ

○義ヨシ國クニ ○大オホ炊ヒノ助スケ ○上シヤウ西サイ ○門モン閥バツ ○イヘガラ

特トク立リツ之ノ志シ ○矢ヤ尾ヲノ城シロ ○上野 ○哀アイ惋ワン ○在ザイ

位イ長チヤウ久キウ ○御位ニマス 長チヤウ久キウ ○崩御 昇シヤウ退タイ ○ノ 聽チヤウ斷ワダシス 萬バン

機キ ○マツリコトヲキコシ 行ユキイ家カ ○為義ノ十子新 通ミチ成モリ 盛モリ

門カ弱マツリ教コトヲキコシ ○清盛ハ子 義ヨシ基モト ○義家孫義 義ヨシ

資スケ ○二條院 義ヨシ廣ヒロ ○下 左サ 獄ゴクニ ○トウ 逗ダウ 梳グシ ○テマトル 澡ソウ 浴ヨク

取キ 冷レイ ○湯トナレバ更ニ苦痛ハ止ザリケリ云々トアリ 展テン 轉テン

煩マン 躁ソウ ○坪 王ワウ 室シツニ ○坪列 簡カン ○斷 髮ハツ 詭キ 服フツ ○詭奇也 察サツ

隱イン 伏フツ ○本ニ京中ノ條理小路門々戸々ニ耳ヲ峙キハ 同ドウ 察サツ

濫ラン 罰バツ ○ミダリニ刑罰ヲ 資スケ 盛モリ ○重盛ノ 髻ケイ ○戒 慎シン

○下 剋コク 上シヤウ 之ノ 象シヤウ ○スノマタガハ 墨シツ 俟タイ 川ガハ ○美濃國木 義ギ 圓エン

行キ 家カ ○トスルハ非 城シヤウ 資マケ 永トカ ○負盛九代 横ヨコ 田タ 川ガハ ○信濃

井キ 上ウヘ 光ミツ 基モト ○ケフ 夾ゲキ 擊キキ ○フウ 狼バイ 狽バイ ○ツネ 經マサ 正ササ ○ノ子 實サネ

定○志保山ホヤマ越中○砥波山ナミヤマ上○黒坂クロサカ上○

嶮絶○猿馬場サルガバミ上○縛炬牛角バウレキョウギウカシニ○策○鼓

課ソウ本ニ太鼓ヲウチホラヲフキ木本カヤノ本ヲウチハ
タメキヒキ鑊ヲキアゲテ轟キカケタリトアリ
○條原レノハラ近江

○長井ナガキ○齋藤別當サイトウベツドウ○錦襖キンアウニレキノシ○獨止ヒトリトビ止

奮闘フントウ○手塚光盛テヅカミツモリ手塚太郎○一奇男子イツキタンシノクビ首○

番ハ半白也本ニ黒見シヲリ白
髮ノ精尾ニ生タリトアリ
○鬚髮シユハツ髮ミ眞黒シンコク鬚シユ黒毛也本ニ鬚
髮ノ黒キハ何ナラ

○踐其言フムソノゲン言コトイヒタリシ言ヲ
一タガヘヌヲ云フ
○擁神ヨウシン器キ擁ヨウ抱ボウ○三

條宮ジョウミヤ以仁王ニニノミヤ○北陸宮ホクリクノミヤ後白河帝ノ孫ゴシロノミヤ○守貞モリサダ○

命メイ元龜ゲンキ占筮シタ○丹波タニハ○曠位クワウキ○準據ジュンキョヨリトコ
口ト云フ

姦軌カンキ奸人ノアトラ
ツグコト

論厲塔レイカイワサハイノハ
シメト云フ
○鑾輿ランヨ○正閏セイジツ正位間
位ナリ

北魏ホクキ北ヲ元ニ
作ルハ非
○孫騰ソントウ魏ミ臣シ○高歡コウカン後ニ太丞相トナル
モト懷鎮函使

○廢帝バイテイ名ハ善見
清河王子

○尾形維義ヲガタコレヨシ○屋島ヤシマ○教經ノリシネ門脇教カサキノリ盛四子
○矢田ヤタ

義清ヨシキヨ義國ノ孫
義康ノ子
○高梨高信タカナレタカノブ○海野幸廣ウムノユキヒロ○

水島ミヅシマ備中備中○實定サネサダ○師家モロイハ○朝方トモカタ○室山ムロヤマ播磨
國

嫌隙フナカ 範頼ノリヨリ 蒲冠者ト号ス 勢多セタ 近江ト号ス 今イマ

井兼平井口兼光ノ弟 高綱タカツナ 秀義ト号ス 景季カゲスエ 景時ト号ス

供御瀬近江 重忠シゲタカ 重能ト号ス 橘小島ト号ス 宇治ト号ス

栗津近江 馬澤而止左傳註墮泥中也本ニ 韞トモ

繪ニ 中原兼定中三権頭 將一部ト号ス 一方ノ大将ト号ス

四宮河原山城 内田家吉三郎ト 惘然ト号ス 廣衣ト号ス

冠八州関八州ニスグレ 一谷城播磨 廣衣ト号ス

東西曰廣南北曰廣 生田森攝津 三草山播磨 知章ト号ス

師盛重盛ノ 經俊經盛ノ 業盛教盛ノ

敦盛經盛ノ 盛俊越中 家長家貞 有國輔道

鉢伏峯一谷 蟻戸同上 嶮惡ト号ス 就鳥尾經ト号ス

春三郎ト 鄉導ト号ス 鶉越ト号ス 崖壁斗絶ト号ス

註一山獨立高峻免 魚貫ト号ス 光盛正光

覆敗ト号ス 關族流離一族ミナオチブ 狷ト号ス 狷ト号ス

祖宗之約天照大御神ノ 狷ト号ス 狷ト号ス

竊ト号ス 經宗ト号ス 蚩尤旗史記天官書曰一其色黃上下

字彙曰一ハ辰星名
○尼子浦阿波國
○櫻間良連外記太夫

ト云
○勝浦阿波國
○良遠民部ト
○群議ガウノイ

カレグン
監軍イクサ
○逆櫓ソウケイ
走計ニケノシ
○群議ガウノイ

ニナノシ
武者トアリ
○篤師本ニ水主楫
○渡邊福島攝津國

タイセフ
大捷
○志渡讃岐國
○箱崎筑前國
○壇浦長門國

トキタ
時忠時信ノ子
○清宗キヨムネ
○有盛アリモリ
○行盛ユキモリ

ニ
○二位尼キノアマ
○四虜シウリョ
○庸劣ヨウレツ
○負荷フカ

侍御シギヨ
○傘工シノコウ
○太石タイコウ

建礼門
○眼メク
○鐵搭鉤テツダコウ
○内侍所ナシツ

カラヒツ
韓櫃
○目眩而止メクゲンシテヤム
○養和ヨウワ
○壽永ジュエイ

ウキイッ
○浮出
○片岡經春カタラツネハル
○養和ヨウワ
○壽永ジュエイ

ゴ
後鳥羽天皇

タカヒラ
尊成
○第四子第一安德帝第二子貞親玉第三惟明親玉
○七條院シチヤウイン

ミナハ種子修
理大天信隆女
○養和ヨウワ
○節度セツド
○腰越驛コシゴエノエキ

相模
國
○廣元ヒロモト
○信義ノブタモト
○時實トキサネ
○比企能ヒキノ

カガ
買
遠宗ノ子藤四郎
○盛魚モリウヲ
○榎致エノチ

○將命將行也命ヲ ○宗茂狩野茂 ○千手センジュ ○邦クニ

道ミチ ○祐經スケツネ ○歌ウタ 今イマ 樣ヤウ ○五常コジヤカラク 樂ラク 体源抄曰五音調子ヲ具ノハ

○皇慶章急同書曰一名海老葛君黃輦ト云谷ニテ作ル也 ○朗詠ラウ 詠エイ 一曲イツク ○

虞氏バシ 楚項羽愛姬虞美人ノ ○楚歌ツカ 楚人ノ歌 ○賴兼ヨリカネ 賴政ノ五子 ○奈ナ

良坂ラサカ 大和國 ○地坼チサケ 水涌ミヅロク ○院廐インノミカ 別當ビョウドウ ○土佐トサ

房昌俊バウシヨウジン ○兼實カネサネ 月輪攝政ト云フ ○釋纖芥トキセニカイ 之憾ノウラマシ 纖芥細少也

○全懿親之恩マツタス、イシンノオン 懿美也兄弟ノ中ムツマニキ ○恩威オンキ 恩ト威ト

國憲益張

論刑賞與棄 ○國家之大柄柄權 ○舉措キョソク

○俊兼トシカネ ○晋惠帝シンケイダイ 名衷字正度武帝二子

○循謹ジュンキン 循順也 ○河尻カハシ 攝津國 ○大物浦ダイモツノウラ 上トキ ○時政トキマサ

四郎太夫シロウタフ ○虛耗キョウカウ 耗乏也 ○守護シユゴ 國司ノ外ニ一ト云モノヲオケルナリ ○莊シヤウ

園エン 私領地ヲ云フ ○地頭ヂトウ 領主ノ外ニ一ト云モノヲオケルナリ ○常賦ジョウフ アタリマヘノ貢租

○計畝課兵糧ハカリホラクワタヒヤウラウ 一反ニツキ米五升ニツヲ課シタルナリ ○控馭コウギョ 國家ヲオサムル

○泰經ヤスツネ ○賴經ヨリツネ ○時定トキサダ ○光家ミツイヘ ○實定サネサダ ○

良通ヨシミチ ○俊成トシナリ 俊忠ノ子 ○千載和歌集センサイワカシフ 二十卷千二百八十四首 ○

清輔キヨスケ ○ 定長サダナガ ○ 寂蓮ジャクレン ○ 泰衡ヤスヒテ 秀衡ノニ子 ○ 靜シヅカ ○

白拍子シラビヤタシ 舞ノ名也 ○ 政子マサコ 頼朝ノ室時政ノ女 ○ 黽勉起舞キンベンキマブ

幕僚バクリョウ 幕府ノ官人 ○ 讌飲エンイン サカモリスル ○ 景茂カゲモナ

景時キョウジ ○ 清經キョウツネ 清盛ノ八子 ○ 由比浦ユヒウラ 相摸國 ○ 信房ノブサ ○

天野遠景アマノトホカゲ 景光ノ子 ○ 繕治センジ ○ 容匿イヨウナク ○ 悖逆ハイギヤク ○

經宗ツネムネ ○ 居顯要イケンヨウ 職ヲツトメタルナリ ○ 鍊達朝典レンダツチョウテン 朝廷ノ故事ニ

大炊御門オホヒノミカド ○ 兼雅カネマサ ○ 曠日糜費クワツワジツヒスヒヲヒヲ ○ 阿津アツ

賀志山ガシヤマ ○ 平泉ヘライズミ ○ 陳岡チンガカ ○ 宇佐美實政ウサミササキ 政光ノ子

河田二郎カワダジラウ ○ 俊衡トシヒラ 清綱ノ子 小國太郎 ○ 季衡スエヒラ 同上橋 八五郎 ○

葛西清重カサイキヨシゲ 兵衛ト号ス ○ 綏撫スイブ 綏安也 ○ 約束ヨウシュ トリキ ○

由利維平ユリコレヒラ 八郎ト号ス ○ 闔境カフケイ クニヂユウ ト云フ ○ 殉節ジュニセツ 義

左典厩サテンキウ 左馬頭フリ 義朝ノ子 ○ 疲飢ヒダキ 飢也 ○ 束髮ツカネハツ

待刑マツケイラ ○ 第○番 ○ 無由結姻ムヨウケツイン 獨身ナレバ婚姻ヲ結ブ由ナシト也 ○

繫留ケイリウ ○ 鯉魚リキョ ○ 精妙セイミョウ ソノワザニ妙 ○ 晝御座劍ヒノゴザノツルギ

兼任カネタネ 次郎ト云フ ○ 義兼ヨシカネ 新田義重三子 ○ 公成キシナリ ○ 機キ

鑒カン ヨク 鑒定ノ ○ 西行 サイギヤウ ○ 義清 ヨシキヨ ○ 韜略 トウリョク ○ 造ゾウ

語ゴ 高妙 コウミョウ ○ 眷遇 ケンゴ ○ 恬淡 テンタン ○ 榮利 エイリ ○ 出出 世富世富

○ 遯世 トシセイ ○ 桑門 サウモン ○ 吟咏 ギンエイ ○ 自適 ジテキ ○ 抖擻 トウソウ

揚子方言東齋曰鋪頒猶秦晉言一也註 謂一舉索物也王維詩一辭貧里 ○ 吟咏 吟咏 ○ 自適 自適

テ自ラタ ○ 欽慕 キンモ ○ 銀猫 ギンビョウ ○ 游嬉 ユウキ ○ 兼房 カネフサ ○ 半ハ

部車 シロシクルヤ ○ 忠親 タツチカ ○ 後德大寺 ゴトクダイジ ○ 榮西 エイサイ ○ 賀陽 カヤ

氏 シ ○ 壽福寺 ジュフクジ ○ 永福寺 エイフクジ ○ 忠光 タムミツ ○ 平氏ナリ五郎 平氏ナリ五郎

盛嗣 モリ ○ 樹雨 ジュウ ○ 雨大臣 アメノオトミ ○ 其曲 ソノキョク

多商音 オホシシヤウオン ○ 曾我祐成 ソガノスケナリ ○ 時宗 トキムネ ○ 獵 カ

快ノ舞 ナリ ○ 曾我祐成 ソガノスケナリ ○ 時宗 トキムネ ○ 獵 カ

場 バ ○ 河津祐泰 カハヅスケヤス ○ 醜 シウ ○ 祐信 スケノブ ○ 間マ

關流離 クワンリウリ ○ 備嘗辛楚 ビサニカムシン ○ 神野 カウノ

營 エイ ○ 幕府 バクフ ○ 虎 トラ ○ 大磯倡 オホイソウシヤウ ○

修禪寺 シュゼンジ ○ 詔稟 シロウ ○ 水鏡 スイキョウ ○ 山槐記 サンカイキ

良經 ヨシツネ ○ 知忠 チモタツ ○ 能保 ノボ ○ 基清 キキヨ

助宗 ○忠房 タフサ 重盛ノ ○盛久 モリヒサ 主馬 ○景清 カゲキヨ 平氏也忠清
三子 五子 判官 子惡七兵工尉

○嘯聚 シヨウシウ ヨビアル ○毀形羸服 キケイ ルイフク 形ヨヤツシ ○通親 ○鍛 シヨウ

刀 トウ 鍛ハキタ ヘルナリ ○西面 サイメン 北面ニ對 ○陵替 リョウウタイ ○恢復之志 クワイフク

モトニカヘシ タウスイラ 歌ノ中ニ御心 ○寓意 ヲヨセ玉フ ○元曆 ○建久 ケンキウ

土御門天皇

爲仁 ○承明門院 シヨウメイモンイン ○受禪 ジュゼン 百練抄云正月十一日受

○賴實 ヨリサネ ○稻毛重成 イナゲ シンゲ ナリ 小山田有 ○相模川 サガミガハ イマ馬入

高座大住二 郡ノ間ヲ流ル ○落之 ラクスコレラ デキアガル 左傳ノ註ニ 宮室始成祭之為落トアリ ○臨觀 リンクワン

ロニユキ テミル ○墮馬疾作 オチウマヤマヒオコル 百練抄云十三日薨依 ○沈毅 チンキ 毅強

チツイテ ツヨシ ○度量 ドリュウ 器度 ○算不前定 サンゼンマヘニサダメテ 算勝 ○未嘗舉 イマダカツテ アゲ

事 コト カツベギミコミガタハザレバ ○敗北 ハイク 敗北 ○尚節儉 ○

俊兼 ○鮮麗 ○盍守儉素 ナニガ マモラ ケンソラ 素ハカザ ○千葉常

胤タネ常重ノ子 ○土肥實平トヒノサネヒラ宗平ノ子 ○介曾武夫カイチウブ伊クサダケノ武士ト云フ

○儉薄自奉ケンハクジホウ奉守也ケン ○截其裔タツソノ裔エラ衣モス ○良經ヨシツネ

兼經ニ子 ○家實イハサネ ○梶原景時カチハラカゲトキ景清ノ子 ○諂佞テンネイ ○諂シニ ○和ワ田ダノ

結城朝光ユフキトモミツ秀郷ノ裔ト云 ○誹謗ヒボウ ○造イタル ○和ワ田ダノ

義盛ヨシモリ三浦義明ノ孫父ハ義宗 ○同盟ドウメイイヒカハセ ○連署レンシヨ連名ノカキツケ

○誣告フゴク ○辨晰ベンセ晰明也ハツキリ ○一宮イチノミヤ ○觀キン ○

小山朝政コヤマトモマサ小四郎ト稱ス政光ノ子 ○扈駕シタガフガニ扈從也 ○長茂ナカモチ

九郎資國ノニ ○距キヨ ○資盛スケモリ資永ルイ ○壘トリテ

鳥坂 ○盛綱モリツナ佐々木源三秀義ノ三子 ○板額イタガク長茂ノ孫御前ト云

○勇悍ユウカン ○藤澤清親フザサハキヨチカ ○股モ ○僵タフル ○虜ロ ○潰クワイ

散サン ○奔竄ホンサン ○容貌イモガボウ醜惡シフアク ○無屈色ナシクツシヨク平氣平ル ○

○淺利義遠マサリヨシトホ ○隆忠タカタ ○劇ハゲシ ○千幡センマン實朝ノ幼名 ○

一幡イチマン頼家ノ子或ハ一萬ニ作ル ○處分シヨブン ○專威モクワス ○

柄ヘイラ 平クワウトケンヘイト ○磐石之固バンシヤノカタメ ○威權ケケン而ヤウ

屬ゾク 中ケンガフタ ○爭亂ソウラン 日起ヒニオコル ○偪ヒヨク 晉書明帝紀阮孚告温嶠内迫即謂偪也

ウチヨリセマ ○嗣君シタノキミ ○高枕而卧タカフシマクフラ安心ニ寐ル ○寢室シンシツ

○密議ミツギ 内々相談 ○誘殺イユウサツ 誘殺スル ○宗員ムネカズ 能員ノ子比 ○擁ヨウ 企四郎ト云

モリタ ○小御所コゴロ 野ノ宮ニ將軍家 ○畠山重忠ハタケヤマシゲタカ 重能ノ子

○焚死フンシ 焚死スル ○黨與タクウ 同類ノ ○誅竄チウサン 誅竄スル ○堀親家ホリチカ 堀親家

○齋書モウシヨウ 齋持也書ヲモタ ○仁田忠常ニタタツネ 仁田忠常 ○幽ユウ 幽ス

○修善寺シュゼンジ 伊豆國 君澤郡 ○請命于朝コウメイヲテ 朝廷ニ奏シ請テ ○

實朝サネトモ ○故左右親狎コサマサノキンケン モトノ近習ノシタ ○消遣シユウケン

幽鬱ユウウツ ○拉殺ラフサツ 拉殺ス ○盤樂無バンラクナシ

度ト ○蹴鞠シウキウ 蹴鞠ス ○不恤フシツ 不恤ス

○隆忠リウチュウ ○通具ツウグ 通具ス ○定家サダメ 定家 ○家隆ケリウ

光隆ミツタカ ○新古今和歌集シンコキンワカシュ 世卷千九百 七十八首 ○平賀朝ヘイカアサ

雅マダ ○義信ギシン ○衛護エイゴ 衛護ス ○女塔メダ 女塔 ○牧氏マキウヂ 牧氏

廣綱ヒロツナ ○基清モトキヨ 後藤兵衛尉 ○實宗サネムネ ○公キミ

通ツウ ○忠經チュウキョウ ○道經ドウキョウ ○月輪ツキリン ○公輔之望コフボノボウ 三公

リテ帝ヲタスルベキ ○為己任ナニヲカニシト 任ス ○匡弼キヤウヒツ 匡弼

替カヘ ○匡濟輔弼キヤウキョウホフヒツ 匡濟輔弼 ○務總大體ムツトウダイタイ 務總大體 ○惑溺便ワクダクベン 惑溺便

嬖ヘイ ○源空ゲンクウ 法然ト号ス浄土宗 ○親シン

皇朝御製 御製 御製

字善信坊名 緯空又

○八宗奥旨

八宗八法相三論俱 舍成實律華嚴天

真言也與吉ハ

○有範

○慈鎮

後改慈鎮 閔白忠通男初名道快

○良

輔○公繼

○温醇淵懿

温子柔聖克也本書一トアテニオホ ドカナル 御本上トアル是也揚子曰

文武淵懿也重易六爻下 亦淵乎浸以光大不亦懿乎

○施為不耀

本書ガノ一モテイテ又御本 上ニテ人々ナトアツメテワ

サトアルコトマニハ好 マセキハトアリ

○亟

本書コトレコソ十六ニナラセ玉ヘハ未ダ ハルカナルベキミサカリニ云ハトアリ

○雖心不懌

ミコ、ロヨカラズ思召タ マヘトモトナリ下ニ註ス

○無幾微形子

色 本書口 ス、レメニハアラネドミタレキニ シ、ハバトアリ幾微ノ語老子ニイヅ

○閑居優遊

歌 遺

サマニテ過サ エ玉フトアリ

○二帝

後鳥羽順 德ノ二帝

○阿波院○屢○正

治○建仁

○元久

○建永

○承元

順德天皇

守成

○第三子

第一土御門帝第二 道助親王第三帝也

○修明門院

重子

○信清

○信隆

○俊仍

字不手棄肥後 国飽田郡人

○台教

○律部

五部 律

○頒

○義直

金窪四郎 左エ門尉

○義重

和田五郎 兵工尉

○胤長

和田五郎義 長ノ長子

○泉親衡

公衡 ノ子

○挾

○發覺

○叙已功勞

叙秩次也ナラ マタタル

○倔疆

倔強也 梗尿兒

○面縛

皇朝御製 御製 御製

百五十一

サイニニ
○屬之吏獄官ニ引
○慚憤ハタイキトホル
○法華堂ホツクエダツ

ヤストキ
泰時
○銳スルトシ
○義秀ヨシヒデ
○朝夷アサヒ名三郎ナサムラヤ
○驍勇ギヤタニタ

ゼツリン
絶倫
○小坪コツボ地名
○涸オヨク
○技キ
○遊泳イダ
○往ワツ

クワン
還數返イクタビカユ
○深没シニボツ
○少選セタセン
○捕トラフ

サン
三鯨魚キコ
○驚歎キヤウ
○幕府バクフ
將軍家ヲ云フ
○闔トザス
○搏闘ハクダウ

搏手
○趨捷キヤウ如ゴシ神シ趨輕走也スバ
○道家ミチ
○公房キムラ

イハミチ
家通
○公曉ギヤウ
幼名善哉母ハ賀茂六郎重長ノ女
○賜車服クダラ優寵イダ服ト

ヲ賜ヒ辱クアヒ
○拜賀ハイガ禮レイ征夷大將軍拜モアラズト云フ
○廣元ヒロモト前

勝太夫政
所別當

○暮夜非無虞モアラズト云フ
○白ヒル

ジツ
日
○仲章ナカアキラ
敦實親王ノ裔文
○覺阿ワクア
廣元入道一ト云フ
○進マシ

エツ
謁
○不覺オボエ泪下フシギニナミダガ
○有アリ由ユエ
○慶賀ケイ

也寺塔ノ落
成ヲ賀スル
○東甲ナカカウ
ヨロイヲ衣服ノ下ニキル
○劍ケン欄ハ
ツルギノ
○闇アン

コク
黑
○衛從エイジツ阻隔カク
ケイエイノ人々ガ
○驚躁キヤウサウ
○雪下ユキノシタ

坊舎シヤ
雪ノ下ハ地名
坊舎ハ寺也
○阿闍梨アジャリ
僧ノ稱也代醉篇曰梵語云阿闍梨
耶唐云軌範正行能糾正弟子

行
○駒若丸コマワカマル
○意謂オモヘラン
○吾當ワレアタル其任ニ
ヲレ將軍ノ任
ニアタレリト也

○計畫ケイカク
計ヲメグ
○長尾定景ナガサダカゲ
○格闘カクドウ
牝牯曰格ハリ
アフタタカフ

○廢黜遭害 ○不肯祝髮

經ツネ 藤原良經ノ孫道家ノ子 ○資性セイ ○温雅ワンガ ○優柔寡斷ユウジュウカダン

シテケツタン ○舅氏キウシ 北條氏ヲ云フ ○大權下移 ○通出ミチデ

○頼茂コリシゲ 源三位頼政ノ孫 頼兼ノ子士岐氏 ○仁壽殿 ○殿舎多

焚 ○英敏 ○典籍 ○八雲抄ヤグモセウ 八雲御抄ト稱ス ○林キ

秘抄ヒセウ マタ建曆御記ト稱ス 禁中ノ故事ヲ記ス ○鍾愛 ○蚤 ○參謀サンボ 謀ボ

佐渡院 ○建曆 ○建保 ○承久

仲恭 天白玉

懷成 ○東一條院 弘子 ○把握兵權 弘親也 握カサ

ギル ○脅制ケフセイ オビヤカシ オサヘル ○擁イヨ モリタ ○幼稚 ○能ノ

野 ○仁科盛遠ニシナモリトホ 源義光裔 ○道傍 ○擢為西面

ヒキアゲテ西面ノ武士トナシ玉フ ○感喜 ○仙洞センドウ 上皇ノ宮 ○長江倉橋

二莊ニシヤタ ニヶ所ノ莊園也 知行所ノ一 ○倡龜菊シヤツカメキク 倡ハ舞妓ナリ ○侮慢 ○停ヤム

地頭ヂトウ 停猶息也 ○胤義グノギヨシ 義長ノ子和田義盛ノ甥 ○秀康 ○募以ツツルニモテス

厚賞カウシヨウ 厚キ賞ヲ給フヲ以テ將士ヲ召集ル ○城南流鏑馬シヤウナンノヤバ 神事ニ行フ 騎射ヲ云フ

○削奪 ○官爵 ○聲罪セウジツ ツミヲイヒフラス ○景盛カゲモリ 藤元郎盛長ノ長子

○足柄簀根

ミナト相模ニ属ス

○師老衆沮

軍ノハリアヒヌケガシテ勇氣ノ

クジケルヲ云フ

○時房

時政二子幼名時連

○泰時

幼名金剛

○朝時

名越ト稱ス

○家僮

○押松

○齋院宣

○震駭

○爲九

○宮崎定範

○糠谷有久

○礪波山

敗狀

○忠信

○有雅

○範茂

○廣

網○重忠

山田太郎重満ノ子

○宇治勢多淀芋洗

芋洗ハ淀

ニアリニ一口ニ作ル

○盛暑雨霽

○水潦方漲

潦ハ奥澗同淹也オホミツノ

○撤橋連射

○時氏

○濟

○支

○長

單騎

○部署

○車駕親征

天子ミジガラ征討シ玉フ

○默思

本ニトバカリ打アシテトアリ

○六軍

天子ノ軍

○脱胄斷絃

本ニ曹ヲ

又ギ弓ノツルヲキリテ偏ニ畏マリヲ申シテミヲマカセ奉ルベシ云々

○努力効死

本ニ千人ガ一人ニナル迄モ戦フベシ

○不由宸衷

天子ノミコ、ロヨリイヅルニアラスト云

○所誤

○戒飭

部○下

○鹵掠

鹵ハ棄也ウバヒカスムル

○下拜

○館于六波羅

山城國愛宕郡

○廷臣首謀者

朝臣ノ首トシ

テコトヲハカリタルモノ

○宗行

○信能

○拘

○没其食邑

リヤウチヲトリアゲル

○守護

○平氏黨與

○顯戮

アラハニコロス

○受戒ジュカイ○雅成マサナリ第四ノ皇子也但馬國
○賴仁ヨリツネ第五ノ子也備

國ニ徙サル児
○公經キンゾネ内大臣實
○結昏ムスブコナエングミ
○月

鳩宮ト号ス
○公經キンゾネ内大臣實
○結昏ムスブコナエングミ
○月

場バ殿ドノ清涼殿ノ
○驕肆ケウシ○宮闕キウケツ蹀フム血チマ
○近時キンジ之ノ明驗メイケンチカキコ

○輕遽ケイキョ舉事アグコトラカルクシク
○制命セイメイ在我アリワシニ
○取怨トリウランロノアキ

ラカナルシヨウコ
○制命セイメイ在我アリワシニ
○取怨トリウランロノアキ

ナリト云フコト
○制命セイメイ在我アリワシニ
○取怨トリウランロノアキ

啓ヒラシ釁キン釁キン瑕隙也フ
○復諫モトリイサタニ違衆ガヒシウニ○袁紹エンセウ東漢ノ大臣ニテ孝靈
○田

○肥水ヘイスイ之ノ劍ケン秦ノ苻堅フケン晋ノ謝安セアン謝安
○兼聽ケンテン秦國ノ

廣納クワク諫言ケンゴンヲ多クキ、
○算無遺策サンナシ也ヤハカリリノヤ

○切諫セツカンイサノル
○如拉コトシラ朽フスガキウクチタル木キヲニキ

○輯睦シフボク心ココロノアヒテム
○激ゲキ○冀苟免ネコラコウメン一寸ノガ

○唐德宗トウノトクソウ諱适代シタ宗長子
○奉天ホウテン地名
○引咎ヒキアタ自ミツカラ

責セム罪ツミヲ我身ニ引受ル
○播遷ハクセン天子ノ左
○九條院クジョウエン○守貞親王モリサダ高倉帝ノ三子母ハ七條院

後堀河天皇ゴリカハ殖子贈左大臣信隆女

茂仁トコヒト○母ミ御名御名○太上ジヤウホフ法皇ホフ○家通ミチ○中院ナカノシヤ

土御門ツミカド上皇ミカド○後ゴ高倉院タカクラノイナ○深シナ有アリ膽タニ畧リヤク○ウハベオトノ

大ナルオホナル○辭色ジシキ不變ヘンゼ○徐シヨ竟ニフヘキヨ局カヘテフク更ユキ服フニ適ニ府フニ

外ホカニ示シ謙ケン遜ソン内ナイ實ジツ陰イン狡カウ○上ベニハケンソニヲシメモ内心

除ジヨ拜ハイ官官ニ拜スルヲ○廢ハイ置ケ天子天子ヲ廢スルコト立立○進シン退タイ

黜陟トキモリ○時盛時政孫○良平ヨシヘイ○教實ノリサネ道家道家ノ○長子

新敕撰シンチヨウシン和歌集ワカシフ二十卷二十卷千三千三○極妙キョクミョウ○ウタヨムノニ

嵯峨サカ中院ミナノイナ○百人一首ヒヤクニシ○明月記メイゲキ○日記

初初メ照照光光記記トテ
フ六十三卷フ六十三卷アリ
貞應テイオウ○元仁ゲンニン○嘉祿カルク○安貞アンテイ

寬喜クワンキ○貞永テイエイ

四條天皇

秀仁ヒト○藻壁門院ソウヘキモンノイナ御名御名○基通モトミチ○近衛コノエ○

幼冲ヨウチュウ○隆赫リウカクイキホヒイキホヒ○朝野傾心テウヤカウシン上下トモニ上下トモニ○

洞院トウイナ○兼經カネツネ○實氏サネウヂ○良實ヨシサネ○定通サダメミチ○晝ヒ

御座劍ミザノツルギヒノコザハ晝出御シ玉フ間也禁秘抄曰内々御行歩必不用晝御座劍用他御劍トアリ○實親サネチカ

設篝火モウクカハリビラ○篝衆カハリシユウ○師家モロイヘ○實經サネツネ○家良イヨシ

○兼平○圓爾諱辨圓駿州葉科人母ハ親氏○為長伊勢守淳中ノ孫大學頭

長守ノ子○勝敗可決○從事儒術○是不シカリヤ

ルヤト云フ意○世尊釈迦○達磨南天竺僧○強弩窮矢

ツヨキモノモヨワキモノモト云フ意○系受道統ヲ受ル○道義儒佛ノ義理○角

觸也○陷重圍中一言ノコタヘ○東福寺山城國禪五山ノウチ○

聖一國師○宮廊大内ノ廊下○塗以滑石滑石ハ白土ヲ

以テ製出ス○健倒ツヨクタフル○天福○文曆○嘉禎

○曆仁○延應○仁治

後醍醐天皇

邦仁○第二子諸書ニアハス皇帝系圖ニ弟四子トナス是ニ近シ○母ミハ○修シユ

明門院順德帝ノ御母○忠成王第二子岩倉宮又廣御所宮ト稱ス○探籌

ミクジヲウカバフ○協ケフ○義景藤九郎盛長ノ孫右エ門尉景盛ノ子評定衆トナル○翼戴

帝テイラ帝ヲタスケテモリタツル○寬厚温雅○注擬心ヲシメテトリハカラフ

○政平訟理本書ニ泰時心正シク政スナホニシテ云々本ノワツラヒヲトメシカバ風ノ前ハチリナクシテ天ノ下則シツマ

キトアリ○講究治體政事ノシカタヲ○憲令○貞永ダヨウエイ

式目○清廉自率欲ニハナレテキレイ○聲色娛

翫グワン ○謙謹ケンキン ○顯位ケンチ 高位タカチ ○器皿キバ ○拇尾モノ 城州葛シヨウカク

寺シ ○高辨コウベン 辯ハ 妙慧ミョウエ ○投劑トウザイ クスリヲア ○風俗フウソク 日偷ヒニウス

偷薄トウハク ○庸醫ヨウイ ○欲心ヨクシン 一萌百殃ヒトモヒヤク 殃競起ウツキヒオコル ○躬自シカラ

率ソツ 勵レイ 自カラ先ニ行ヒテ ○創艾ソウカイ シメル ○周文王シュウブン 昌ハ

○讓壞ジョウク 周本紀曰耕者皆讓畔コウノハダマス ○虞芮之訟グゼイノシヨウ 虞芮田ヲ爭テ決セス 周ニユキ耕者ノ畔ヲ

讓ルヲミハダテ文王ヲミバシテ還ル ○服膺フクヨウ ヨク胸ニアテ ○都鄙トヒ

論勤儉キンケン ○奢泰シヤタイ ○土墦トク 茅茨不削ヨロヅリザラヌ 上階三等ノノノ

○瑤宮ヨウクウ 瑤同瓊ヨウドウジュウ ○卑宮ヒクウ イヤシイ ○堯ヨウ 五帝ノ

無藝ムギ 藝ハ法制也ギハホウセイ ○誠セイ 格コク 克コク 格コク 聚飲也クヅイン トリタテカ

深切著明セツセツセツ 著セツ 明メイ 著セツ 明メイ ○考妣カウヒ ○捷如影テツニヨモ

響キヤウ ○治効チカウ ○居九五之尊コニキウノソニン 天子ノ御位ニアルヲ 云易曰九五飛龍在天

○疾ハヤシ ○上ウヘ ○偃フス

○顯德院ケンタクイン ○適ユク 嫁スル ○翕赫セツカク イキホヒサカ ○西サイ

園寺エンシ ○別莊ベツソウ シモヤ ○堂宇壯麗ドウウソウレイ ○冠絕クワンゼツ ○

今出川イマデガハ ○韞トモ 繪大將エノタイシヤウ ○寬易クワンイ 茲仁シニ 易簡イカン ○推スイ

戴タイ○仰アフ成セイ鎌倉カマクラニ鎌倉ノハカラヒ

アリテ御治世ハ累代敢テ断絶アルヘカラズ

子細アルニヨリテナリ御遺命アリ云々

議ギ○迭タガヒニウク承皇統シウワウツウ○卑ヒ替タイ極キョク時宗トキハネ時頼トキヨリノ二子

子孫永ク在位ノ望ヲヤメラルベシ

○建ケン議ギ○迭タガヒニウク承皇統シウワウツウ○卑ヒ替タイ極キョク時宗トキハネ時頼トキヨリノ二子

テタル

後深草天皇

久仁ヒサヒト○第三子ダイサンシ第一宗尊親王第二恒尊親王第三帝ナリ

○實經サネツネ関白道ツネトキ泰時トキヨリ○時頼トキヨリ泰時トキヨリ○從父ジユウフ

○光時ミツトキ朝時ノ子也保曆間記ニ云江馬越後守光時將軍ノ近習ニテミケシキヨカリケルが驕心アリ云々

○謀ボウ同書ニ將軍モ光時ニ心ヲヨセラレ

○鏡意圖治キョウイ鏡利也コ、ロラスルドクシテ政事ヲツトムル

○青砥藤綱アヲ大庭近郷ノ裔

○食邑シヨクイ所ナリ

○怪問アヤシミトフ○夢兆ユウテウ○微効ビカウ○公文モン

皇朝野史卷之五

所ジヨ 後ニ政所ト改ム政事ヲ
トリアツカフヤクシヨ
○德宗領トクツタリヤウ 時政ノ廟ヲ一ト云
鎌倉宝戒寺ニ在リ

○具有辭證ツサニアリジシヤウ タシカニシヨウコ
ノアルヲ云フ
○覆議フクギ フタビサバ
キヲスル

○三百緡サンビヤク 緡錢買也
ゼニザシノ
○斷訟持平ダンソウジツ 訟ヲサバクニ
公平ニ願フ

寬枉之譏エムワウノソシ ムジツノ罪ニア
ヒタルヲシリ
○苟イヤシモ カリソ
○得當エバタウラ 理ノ
當然

ヲエタラ
○宜見賞獎コロシラルミヨシヤツセ 滑河○買炬カヒキヨヲ タイマツ
バトナリ

搜索○笑其得不償失シウサク ノ錢ヲツイヤスヲワラフナリ
スコシバカリヲヒラフニ多ク

○布在民間ミキ 世ニシキナリ
テアラバトナリ
○施與○俸祿○賑ホウロク

貧困○自奉甚薄ヒンコン 儉帛ケンヒツ 縹緗ヒョウセウ 縹緗ヒョウセウ 縹緗ヒョウセウ

也マツスグニ
イサギヨキ
○剛直○不憚權貴○奸吏欽迹コウチク 不憚權貴○奸吏欽迹コウチク

ワルキヤクニシノムサ
ボリ心ガナクナル
○飭チウ 領革○族父チウ 父之從祖
昆弟為一

時トキ 時盛ノ子初
時忠ト云フ
○挈ケツ 提挈
ヒサグ也

○下物カダツ 類書纂要云飲
儲也サケノサカナ
○厨下所有煩君取之ナウ 厨下所有煩君取之ナウ

厨下臺所也本ニ生カナコソナケレ人ハシヅマリヌランサルベキ
モノヤアルト何処マデモトメ玉ヘトアリシ云々トアリ
○覓モトム

餽餘豆ニシ 字書曰餽所食之餘致配鹽豉也本書ニガイ所ノ棚ニ
小土器ニミソノ少シツキタルヲ見出テコレゾ求エテ候

○侑スム 勸也
○酣飲盡勸カン 心ヨク數献ニ及ビテ興
ニイラレ侍リキトアリ
○真シン

率ソツ アリノマニテ
カザリナキ
○通光○兼平○忠家○實サネ

皇朝野史卷之五

百六十六

基モト○公繼キンツグ○兼經カネツネ○泰村ヤスムラ義村ノ長子
駿河二郎 ○迎復ゲイブク

ムカヘテモトノ
如クニスル
○蜜運ヒツカニウシタス致私邑器杖シシノキジヤウツワガ知行所ノ武
器ヲドリヨセル

○異志イシシ○待遇タイイクツ如故ゴシコノ○畢集ヒツク○託治具タクシツグダウ
グ

ト、ノフルニコ
トヨヒテナリ
○舉措キョソ異常イジヨウ○探甲聲タンカシヤウ環貫也ヨロ
ヒヲキル

云
○間ヒソカニ○解謝カイシヤスルヲ云フ
○偵ウカフ○動止ドウシ○儲モツクル

○修睦シユスドクスル
○徹備テツビソナヘヲヒ
○貽書曉諭オキテヨクワタス

○感喜カンキカンジヨ
○族兵ゾクヘイ手勢テシ○錯愕サクガクアテダチガフ
テマツク

○舉族キョソク家族ノコラ
○就所ツキヨ在ゾイ○索捕サクホ○親黨キンタク

○胤氏インシ大領オウリヤウ○襲殺シヤウキヤク○秀胤シユイン上總カミツツ權介ケンケイ

一宮イツノミヤ○定通サダツウ○公房キョウフサ○道隆ダウリウ宋國西蜀諸蒞人姓
冉氏也弘安元年七

卒月
○禪林ゼンリンテラ
○大覺禪師ダイカクゼンシ○具實モトサネ○通具ツウキ

○道良ミチヨシ○為家タメイヘ○續後撰和歌集シヨクゴザヘンワカミフ北卷歌千
四百餘首

賴嗣ヨリツグ○與クミス○氏信ウヂノブ○逮テイ漢書連繫註曰辭之所
及則追捕之故曰逮 ○長久チヤウシヤ

連ツラ○了行リヤウギヤウ○鞫キウス○得其情エツソノミヤウ情實ヲサ
マコトニグリミルナリ ○誅逐チウチク

或ハコロシ
或ハオフ
○宗尊親王ハネタカ母准后藏人木
工頭棟基女 ○定雅サダマサ○兼カネ

平ヒラ○公相キンスケ○日蓮ニチレン○倡法華宗トナフホクエシクラ○貫名氏ヌキナシ○

重忠シゲタツ○東條鄉トウジョウゴウ○禪律真言ゼンリツシンゴン天台テンドウ名ナリ

○公基キンモト○嬰疾カハルヤマニ○雅モトヨリ○創最明寺ソウスサイミヤウジヤ於山内ヤマノウチニ

○退居養病タイキヤコヤシラヤマヒラ○時宗トキハネ時頼トキヨリ子二子○長時ナガトキ重時モロツネ子ノ子○攝セツス

職ミヨウラ執權職シツケンシヨク後ノ後○實雄サネヲ○基平モトヘラ○師經モロツネ○岡屋オカノヤ

○寶治ホウダ○建長ケンチヤウ○康元カウゲン○正嘉シヤウカ○正元シヤウゲン

龜山天皇カメヤマ

恒仁ツネニヒト○公親キンタカ○解職トクシヨクラ解ハヤメメ○遐カ荒僻壤ラフワヘバジラヤ

○行脚僧ギョウカブツ○周巡シュウジュン○觀省風俗カンシヤウフウフク

民間ノヤウスミヤノノヤウス○訪民疾苦トウミンシツクタミクハヒ苦シムタミクハヒ苦シム○切問セツモン

事情ジヤウジヤネンゴロニ事ガネンゴロニ事ガ○難波浦ナニハノウラ東生トウシヤク○投宿トウシュク○屋オク

壁傾頽ヘキケイタイ家モヨロビ壁モカモヨロビヘキモ○詰朝キツタツアクルアクル○嬰炊進ヤウススミ

飯イハ○不慣賤役フナレヒンチヤク賤シヤク業ニテナ○潛然垂泣サニゼンシヤルナミナサメ

ト游ヲナト游ヲナ○世食采斯邑ヨハムサイフコノイ前漢地理志ニ韓武子食采前漢地理志ニ韓武子食采韓原カンゲン

○門戶殄瘁モンコトシサイ家内ミナシニタエテカノウミナシニタエテ○艱苦カンク○財保サイホウ

餘年ヨネンシニノコリノ命ヲ助シニノコリノ命ヲ助○詳悉シヤウシツ悉シツ盡也シツマビラ○察サツ

問辨ベンカク覈アキラカニ問タバシテヨシ○守宰シユザイ頭シユザイ護地頭ナリ○竭ツクス

○輔導ホダツ○簡カン○備ビ顧問コモン○貞觀ダヨク政要セイイコウ唐太宗ノトキ

成ル○綱紀カウキ廢弛ハイシ○獄訟ゴクソウ滋興シコウ○遵シユン○翕然キウゼン

悦服エツフク翕ハ令也一同ニキ○親疏シンソ○悲慕ヒボ慟ドツ

哭ツクス慟ハ天哭也ツヨク○カオミミナク

論モナテミラヒキユシモ以身率下ミツカラ行フテ○軌則キソク規則規則ニ○

又安カイアン○淳朴ジュンボク淳厚也フウゾクノア○人牧ジンボク

彗星ハキホシ○光ヒカリ芒マウ且カ天テ○政村セイムラ義時ノ子義時ノ子

○實經サネツネ○基平モトヒラ○基忠モトタタ○冬忠フユタタ○爲家シメイハ○

續古今和歌集シヨクコキンワカシュ廿卷千九百セチマニマユ○惟康王コレヤス○僧正ソウジヤウ

○良基リヤキ○法印ハフイン○嚴慧ガンエ○謀泄モウセツ○高野山コウヤサン

○亡命バウメイスルカケオチ○家經イハツネ○方物ハツモノノ國ソノクニ○蒙古モウコ

國名ナリ○書辭シヨジ不遜フソン文章ノ辭文章ノ辭不不○通雅ミチマヤ○通成ミチナリ○

通方ミチカタ○師忠シロクツ○部兵侍郎ホウヘイジロウ黑的コク的テキ部兵侍郎部兵侍郎ハ兵ハ兵

部兵トアルハ非ナリ○禮部侍郎レイホジロウ殷弘インコウ礼部侍郎礼部侍郎ハ治部ハ治部

○拒コハミ

而不納テ○師繼モロツジ花山院大納言言ト稱ス○小中大夫秘書シヨ

監趙良弼カンテウリヤウヒツ秘書監ハ圖書寮ノ助ニアタル○草答書草稿也シクガキノヲ○

不可マキカ○秀才明經課試及第文章生明經生ノミケニヲヘテ及第セルモノ

○上封事ウヘマシホウ○山階ヤマノハシ○洞院トウイン○英發エイハツ○鎮國チンコク

之寶ホウ

後宇多天皇

世仁ヨヒト○京極院キヤウキョクイン藤原藤原ノ○忠家ツヅカイ○一品イツポン中務ナカササ

卿○宗助國ソウスケクニ平知盛平知盛○景隆カゲタカ○景資カゲスネ○實通ヨルナガハ

門室津カドムツ○大番兵オホバンヘイ守衛ノタメ交番ニテツメル兵○武幹士ブカンシ幹幹

也武勇也武勇ノ○憤懣フンマン懣愁悶也懣愁悶也イカリモダユル○本院ホンイン後深草後深草○正シヤツ

嫡チクコソウリヤウナルコト○實政サネマサ金澤實時金澤實時○探題タンダエ民政ヲ掌リ兼テ軍

事ヲ總督スル職○鎮西チンセイ○忠教タケノリ○家基イエキ○一遍イツヘン○

時宗シムツネ○河野カノ越智通廣次男俗稱別府通秀○空也クウヤ仁明帝孫常康親王男○

勸化クワンカスハメオモムケル○游行上人ギヤウシヤウニン○爲氏タメウヂ○續拾遺シヨクジツイ

和歌集ワカシフ廿八卷千六百首六首○夏貴カキ○范文虎バンブ○周福シウフク○

樂忠ランナウ○博多ハカタク國筑前○鷹嶋タカシマ國筑前○海水カイス簸ヒ

蕩タウ簸揚簸揚米去糠也ナミ○艦カン覆沒フクボツイクサブネ○乘勢ジョウシ

掩擊エンギス掩襲取也イキホヒニ乘テオンヒウツ○殺獲サツクワクコロシイ○兵象エイシヨウ兵事

天象コル○圓覺寺エンカクジ○祖元ソデン○具疏幣グスヘイ疏班也幣金玉

航海カウシカイ○聘ヘイ○基具モトモ○貞時サダトキ○惟康コノヤス○英敏エイミン

○親房ナカフサ中院夫納言通方五代大納師親ノ孫師重ノ子北畠准后ト稱ス○流亞リウア云云

伏見天皇

明○信嗣ト稱ス○實兼ミタカ○淺原為賴ハシハラノモトヨシ

ト稱ス甲斐ノ人○春日カスガ殿一條ノ北ニ在リ傍春日祠アルニ因テ号ク○衛兵エイヘイ

赴討オモキ○時論ジロン○公衡キムヒラ○誓書セイレヨ○申理シンリ○屍シ

○佩刀バイタウ○實盛サネモリ○公守キムモリ○實雄サネヲ○忠教タカノリ○

兼忠カネツネ○公孝キムタカ○實基サネモト○定實サダサネ○定通サダミチ○實サネ

重シゲ○公親キムチカ○師教シロノリ○家經イヘツネ○南禪寺ナンゼンジ山城國粟田山

ノ東ニアリ○稱念院ミョウネンイン○鷹司タカツカサ地名ヨリオユル上御門南方里小路東○通雄ミチヲ

○通賴ミチノリ○準大臣ジュンダイジン大臣ニナズラフ○正應セイウ○永仁エイニン

後伏見天皇

胤仁タテヒト○準三后ジュンサンコウ福門院ミナハ經子永○冬平フユヒラ○一寧イチネイ

浮屠フツト○編置ヘンチ伊豆國ニ流シテオシコメオクヲ云フ○切齒セツシハギシリヲシテイカル

○晏然アンゼン晏安ニ同ジオナラズ○同休戚キウセキ憂樂ヲ共ニスル○定房サダフサ

○讓違セムタガフ○兩宗迭立之策リウソウテツリフ兩帝ノ御子孫カハルミクヲサニツキ玉フ

ナリ ○兆テウ○窺覲キウキン上ヲウカバヒマレツキ

論梟雄之姿キヤウユウワルツヨキウマレツキ○窺覲キウキン上ヲウカバヒマレツキ

○鋤諸將シヨモロ鋤ハスキトルリニダツ○篡奪之勢サンダツ○廢立ハイリ

トナリ其子炎ニ至テ主ノ國キヲウ○鞏固コウコ鞏固也テガタクスル○幹カン

父蠱フノコ父ノワサヲツグ○陪臣バイシン○姑息コソクイッスンノガレ○階カイ

○正安シヤウアン

後二條天皇

邦治クニハル○西華門院サイカ御名モナ○師時モトキ○子敷島シキシマ

今觀島イマミツ○内實ウチノミ○家經イヘノツネ○為世タメヨ○新後撰和シンゴセンワ

歌集カシフ二十卷千九ヒヤクセブツ○持明院チミョウイン○通賴ツウライ○家平イヘヒラ

實家 ○道平 ○守邦王 ○乾元 ○嘉元 ○
德治

花園天皇

富仁 ○第二子 第一後 伏見帝 ○顯親門院 御名 季子 ○
尊治 ○經平 ○入寇 ○慕尚 ○披 ○
察風觀俗 ○蒙譴 ○屏居 ○愛其

閑寂 ○負冤 ○彰 ○仲

已之在 ○
心ヲムル

鳥兼 ○玉葉和歌集 六百三首 ○具守 ○

實泰 ○基時 ○公顯 ○高時 ○公茂 ○實
重 ○花園離宮 別御 殿 ○妙心寺 ○慧玄 諱 關山 諡 覺照 圖節
延慶 ○應長 ○正和 ○文保

後醍醐天皇

尊治タカハル○第二子ダイニシ 第一邦良親第一邦良親 談天門院ダンテンモン 御名ハ御名ハ

○邦良クニヨシ○家定イヘサダ○内經ウチツネ○通教ミチノリ○有房アリフサ○

通雄ミチヲ○師信モロノブ○師繼モロツグ○爲世タメヨ○續千載和シヨクセンザイワ

歌集カシフ二十卷二ニ○記錄所キロクドコロ 公事訴訟ヲ公事訴訟ヲ○大津オホツ 近江國近江國

○葛葉クヅハ 河内國河内國○夙興夜寐ソトニオキヨハニイネ○孜孜圖治ミツメハカルヲハダ

行ヒ玉フトメテ政事ヲ○討論クワロシ 尋究也尋究也○程顥テイカウ 字ハ伯淳明字ハ伯淳明

程頤テイイ 顥ノ弟字ハ正叔顥ノ弟字ハ正叔○朱熹シュキ 字元晦又仲晦字元晦又仲晦

嗣ツグ○兼季カネスエ○冬教フユノリ○經忠ツネタダ○實衡サネヒラ○資朝スカタモ

俊光トシヒコ○藏人頭クラウドノカミ○俊基トシモト 内麻呂ノ後内麻呂ノ後○竊裝ヒソカニヨソフ 内々身内々身

ヘルコシラ○修驗者シュケンシヤ○土岐賴貞トキヨリサダ 源賴光ノ後裔源賴光ノ後裔○

多治見タヂミ國長クニナガ 賴貞賴貞○師賢モロカタ 尹大納言尹大納言○隆資タカスケ 四條中納言四條中納言

○實世サネヨ 家ヲ洞院ト家ヲ洞院ト○游雅ユウガ 稱伊達稱伊達○玄基ゲンキ 稱聖護院稱聖護院

○足助重範アシタゲノリ 二郎ト稱ス二郎ト稱ス○深相結納フカクシアヒ フカクマジハリフカクマジハリ

○露髻散髮アヲハシモトリシテラシカミヲ 本書烏帽子ヲ脱本書烏帽子ヲ脱○坐無位次ザナシオシ 席上ニ上席上ニ上

○露髻散髮アヲハシモトリシテラシカミヲ 本書烏帽子ヲ脱本書烏帽子ヲ脱○坐無位次ザナシオシ 席上ニ上席上ニ上

ナキ
○令著單紗衣行酒本書女ノ眉目形優ナルスマシ

○宴語款熟款誠也情實ヲ
○拘致召捕テツレ來
○鞠キク

問モシ吟味ス
○欲紓其患ホツスノベントソノウレハ
○宣房ノダフサ元名通俊

資通
○爲定為通
○續後拾遺和歌集二十卷二千百兆首

嬰疾危篤命ノ危キ
○長崎高資
○崇鑑

金澤貞顯
○相善
○泰家貞時ノ
○憤恚イキ

○瘳
○守時久時ノ子義時六世ノ孫
○舉止無度法ハ

○宗嫡家嫡也イハヌル
○秋田時顯
○内管

心戮力協合也并也トモニ
○昏闇オロカ
○威福賞罪ヲ自

權由ニスル
○專行胸臆マヤミニ已ガ思
○忌憚タシ
○怨エン

憤
○衆情日離人心ガ日々ニ
○鬪狗犬ヲカミ合ハスル

課百姓課ハワリツケ
○充租賦年貢ウシジヤウノ代リニアテルナリ

競獻我レ先ニト
○厭以梁肉ウマキ肉ヲアクマデ

籃輿
○俯伏地ニ平伏
○十二次十二度
○群吠

狺狺震地群犬ノ吠ル聲カ
○田樂
○優人
○付

諸將シヨウヤ 諸將ニ預ケオクヲ ○ 纏頭テントウ カヅケモノ也俗ニハナト云フ ○ 積成丘ツミテナス 丘キウ

堆ツイ ツミカサネテヲカノ如クナル ○ 不贊フサン 不足スル ○ 量仁親王カズヒト 後伏見帝

第一ノ皇子 ○ 績ツグ ○ 充ミツ 供給キョウキウ 御入用ニニテ ○ 季長スエナガ ○ 納其イルソノ

賂ロ マイナヒ ○ 攻撃コウゲキ ○ 尊雲法親王ソンウン 帝ノ第三子大塔官ト稱ス護

長親王是也 ○ 座主ザス ○ 天姿穎敏テンシエイミン ○ 黎下ナシ 本書ニ黎本ノ門跡ニ御

入室有テ承鎮親王ノ御門弟ト成給フトアリ ○ 擅權センケン ○ 贊タス ○ 武技ブギ ○ 韜タウ

略リョク 前ニ ○ 基嗣モトツグ ○ 長通ナガミチ ○ 公賢キムカス ○ 大判事ダイハンジ 断定刑名

名ノ官 ○ 中原章房ナカハラアキフサ 法曹道ノ預備 ○ 成輔ナリスケ ○ 瀬尾セノ ○ 雲ウン

居寺イジ 京師東山花園院ノ邊ニアリ ○ 俠ゲキ 以テ人ヲヒキイルハ ○ 刺殺セキサツ

論ロ 優容ユウヨウ モノヤサシクアヒシヲヒ玉フ也書君陳曰從容以和ス ○ 轍イッテツ 行跡ヲ同シウスル

輯睦シウボク 一同ニムツ ○ 兇逆ケウギャク 惡逆ニ同シ ○ 離叛リハン ○

成敗セイハ 事ノ成ト敗ルハトヲ云

章信アキノブ ○ 圓觀エンクワン 法勝寺ノ住持 ○ 文觀モンクワン 醍醐寺ノ座主 ○ 咒詛ジュソ

執致シツチ ○ 首服シュフク ツミニオチイル ○ 拘カウ トラハオク ○ 硫黃島イソフカシマ

在薩摩坤海島高山常虞起出硫黃 ○ 富士山 ○ 貽 ○ 車駕 ○ 遼

在薩摩坤海島高山常虞起出硫黃

○ 富士山 ○ 貽 ○ 車駕 ○ 遼

裔エ國ハヅレ遠キ地ヲ云フ ○流竄ソウサン ○二階堂貞藤ニカイダウサダフガ行藤コノ ○

威服キフオドシシタガハシム ○無它故ナシタコ他ノ故ハナシ ○輪忠於天イタスエウラ、テン

朝チウ効臣節イタスミシセツ臣タルノミサ一ヲ、盡ス ○天威亦安得不霽テンイマタイツツエンザラハレ

哉ヤ天子ノ御怒ノ晴ザル一ハアルマジト云意 ○文武緩急異用グンブクワフコトニヨウ文ト武トハ用ヒ所ガ違

フト ○噬噤カムホヅル後悔スル ○謀テウマハシモノ ○乘輿ジョウヨ ○絕島ゼツダウ

ハナレ ○聲言セイゲンイヒフラス ○盡銳ククスエ ○稍ヤ ○殲賊センソク殲ハミナ

ゴロシニ ○禁旅キンリョ官軍ヲ云 ○奄至エンシニハカニイタル ○大事去矣ダイジサラン

去來也大ゴトガキ ○師賢モロカシ花山院大納言ヲ云 ○藤房フナフサ宣房ノ

門モン別名兵衛御門 ○三條河原 ○具行トモユキ ○公敏キントシ洞院左大臣臣實泰子

○忠顯チュウケン ○更御竹興サナミギヨスチクヨ竹ゴシニ乗リ替ヘ玉フ ○重康シゲヤス ○豐トヨ

原兼秋 ○隨身スアイジン朝廷コリ賜ハル資人ナリ ○秦久武 ○綴賊ツヅルゾク

兵ヘイ賊軍ヲ引寄ル ○仲時ナカトキ基時ノ子 ○尊澄ソンセイ法親王帝ノ弟子宗

良親王是ナリ ○辛崎カラサキ近江國志賀郡 ○行在アンザイ ○笠置山カサギヤマ山城國相樂郡

○二州角ニシウカク二人ノ童子也詩齊風曰總角アゲマキ總角二人ノ童子也詩齊風曰總角ハナハシ鄭傳

剛山コウセン河内國石河郡 ○楠正成クナシキマサシゲ兵衛正玄ノ子 ○橘諸兄之裔タチバナモロエ

諸兄十四
世之孫
○志貴山志貴郡
○毘沙門志貴山ノ神靈ニ此名ヲ附會セシ也

○小字曰多聞セウジヲイフタモント
○興復コウフツク朝政ヲ再興スル
○逆賊ギャクゾク

暴虐バウゲキ
○自招覆亡ミシカラマネクハタラ
自今カラ家ノ滅亡ヲマネク
○蔑不尅ナシザルカク勝ヌト云

○創業サウゲフ
國家ノ業ヲ興ス
○易撓ヤシクワヨワラセ易

小舩セウバウ
○城キョウ
赤坂アカサカ
河内國石川郡
○櫻山サクラヤマ
茲俊コレトシ
四郎入道

○義兵ギヘイ
一宮城イチクミヤノシロ
本書一ノ宮ヲ城郭トストアリ備中國吉備津宮ナリ
○光嚴クワウゲン

院オン
○時益トキマス
左近將監ト稱ス平時敦ノ子時政六世ノ孫也
○大佛定直オオボツサダナホ
宗宣孫宗

泰ノ子此條氏ノ餘流ナリ
○尊氏タカウジ
始名高氏讚
○判官代ハツグンタイ
職原抄

○徒歩トホ
本書徒跣ナル体ニテ落行玉フトアリ
○突圍ツクカウミ
○扶行三日フカウサンジツ

夜ヤ
タスケ行ク
○平等院ビヤウトウチン
山城國宇治郡
○百僚ヒヤクリョウ
○方ハウ

可二町カニチヨウ
○民儲ミンチヨ
○板築ハンチク
史點布傳曰項王伐齊身負一ト爲士卒先
○

○慮リョ
○正季マサスエ
正成ノ弟也本書七郎又帶トアリ
○和田正遠ワタマサトホ

五郎ゴロウ
○傍近ハウキン
○隻手セキシユ
○輒薄塀急攻スナハチセマリハイニキフニセム
○亂ラン

射雨注セキウチウ
○殺傷サツシヤウ
○驚沮ケイシヨ
○卸甲解鞍オロシカフラトクアシラ

甲冑ヲヌギ馬ノ鞍ヲオロス
○營エイ
○憩息ケイソク
憩安息也
○瞰ミル
闕視也

鼓譟

穀梁傳定十年齊人一而起
サワギタツテス、ムヲ云フ

○出盪

出テ、荒ス

○夾

擊

○委棄載路

路ニウチ捨テ有ル

○豫

○機壁

イノ

○肉薄

上嶮一ミヲヒキツケセマル

○俟

○斷索

○壓殺

○

因連

○巨石

○敵更蒙盾競進

○以

鐵搭鉤埤

○長柄杓

○沃沸湯

○

○糜爛

○營柵

○陣屋

○持久

○氣ナガニ

○倉

○不挫

○勢ノ弱

○葛糧

○葛ハ牛馬ノ食物糧ハ人ノ食物

○救援

○首倡大義

○

○

○

奔命

○

○

○

○

縱火

○與衆三五

○分伴

同勢ヲ三人五人ジツニ別テユク

○湯

淺定佛

○孫六入道

○略定

○潰散

○吉備津祠

○

備中國賀陽郡

○招集義旅

義兵ヲマネキアツムル

○尊長親王

帝ノ長子

○恒良親王

帝ノ弟五子

○國分寺

周敷郡ニアリ聖武天皇御代毎國ニ一ト一ヲ

造

○清高

○徇

○氏

○渡邊橋

攝津國西生郡

○隅

田通治

○高橋宗康

○天王寺

攝津國東生郡

○羸

馬繩

○沒溺

○無算

○參與機密

密謀ニア ○早川ハヤカハ相模國足下郡 ○師賢モロカタ ○宇都宮公綱ウツノミヤキムツナ

初名高綱参河守貞綱子 ○驍將ダウシヤウ ○紀清西黨紀氏清原氏ノ西族ナリ ○敗ハイ

血之餘ゲツノヨ ○豈止今日アニタバコノチミマヤ ○後舉コウキヨ再再ヒ兵ヲ ○一籌イツナウ

○出奇オウキチ奇妙ナル謀ヲ出ス ○誑コウ ○慄輕ヘウケイカルハズ ○氣索キツキテ

而去サラン ○炬火キョクワ松明ナリ ○星布セイフホシノ如ク ○滋多マクオホクマズク

逼ヒツ ○勒兵嚴備ロクヘイガンニシビラ ○料リョウ ○城吉野キョウキヨ本ニ吉野大衆ヲ誘ハセモヒテ愛森宝塔ヲ

城郭ニカマハ三千餘騎ヲシタカヘ ○匿カクル十津川カハニ大和國一吉野郡 ○令レイ

親王ノ命ヲ ○赤松則村アカマツノムラ後村ノ子具 ○苔繩コタメハ播磨 ○

阿曾時治 ○平野將監 ○旬餘ユウジョ ○

渠キヨ人ノ目ニツ ○所泄モラサ穴ヲ穿テ水ヲモラスナリ ○困渴クワンカクカワキニタ

○以火箭焚樓櫓モチテクハセンラヤクロウロラ ○土井通治トイミチハル二郎ト ○得トク

能通時ノウミダトキ弥三郎ト稱ス ○星岡ホシヲカ伊豫國 ○村上義光ムラカミヨシテラ始メ彦四郎ト稱ス弥四郎信

子泰泰ノ ○壁立數十仞ヘキリフスジフジンガケノキツ立ニ成リ ○禁擅進キンスエンシン

○環守カンシュ城ヲトリマキ ○不涸フカレ水ノツキ ○大槽ダイサウ大ナル水水ブネ

○屋溜オクリウ ○名越高家ナゴヤタカ ○偵ウラナフ ○旗幕キバク ○愧忿キフン

○猝ニハカ ○藁人カウジン人形 ○昧爽マイサウ ○雲梯ウンテイクモノカケハシト稱ス外ヨリ城塙ヘ

皇朝史略卷之二

カケワタスウ ○然^{モコ} ○隨^{オツガイ}崖谷^{コクニ} ○糧^{リョウ}道^{ダウ} ○逃^{タウ}

亡^{ハム} ○豪桀^{カウケツ} ○響應^{キヤウオフ} ○過^{アツゼツス}絶内外^{ナイグイラ} ○人ノ出入ヲスツ

○富士名義網^{フジナヨシツナ} 佐々木富士名判官ト稱ス ○無繇^{ナシヨシ}言^{イノニ}

之^{コレラ} ○侍^ジ姫^キ御側^ノ ○摩^マ耶^ヤ山^{サン} 攝津國 ○伊東^{イトウ}

惟^{コレトモ}群^{トツテ} ○寨^{ミツ}三石^{イシ} 備前國 ○直^{チヨク}日^{ジツ} 當番 ○情偽^{セイギ} ○

効^{イタス}節之志^{セツヲノコモシ} ○鹽冶^{エンヤ}高貞^{タカサダ} 佐々木義清ノ玄孫 ○遲^{マツ}待^{マツ} ○

倅^{イツル} ○月滿^{ツキミチ}出宮者^{イクウモノ} 勤ル月ノ滿テ我 ○潛^{ヒソカニ} ○腰輿^{ヨウイ}

得^{アエテ}タリ ○敢請^{カンセイ}所^{トコロ}之^{ユク} 行^{ユク}所^{トコロ}マデゼヒ送り ○形便^{ケイベン}之^ノ

地^チ 都合^{トクゴ}ノヨキ ○異^イ日^{ジツ} 他^タ日^{ジツ} ○解^{トクトモツテ}纜^{リョウ} ○輕^{ケイ}舸^カ ○薨^{カウ}

魚^{ギョ} 本書ニ乾タル魚ノ入タル俵ヲ取積テ云々本草 ○給^{アタタ} ○轉^{テン}

網目鮑魚一名薨魚時珍曰即乾魚也薨作葉非 ○給^{アタタ} ○轉^{テン}

去^サ カガヲムケ直 ○忙懼^{キョウ} ○默禱^{モクダウ} ○飄蕩^{ヘウダウ}

須史^{シユ} ○名和港^{ナワミナト} 本書ニ奈和庄野津郷 ○名和長^{ナワナガ}

年^{トシ} 具平親王ノ 裔父ハ行高 ○委託^{イタク} 委^イ任^ニ也託^{タク}憑^ヒ也 ○舟上山^{フネノウヘノヤマ}

児島高德^{コシマタカノリ} ○範長^{ノリナガ} 本書曰新羅王 子天日槍後也 ○舟坂山^{フナサカヤマ} 播磨國

道其衷ツノ心中ヲ ○天莫空句テシナカレサミウスコウ 踐時非無范センラトキニフナズナキハシ

蠱レイ 句踐ハ越ノ王范蠡ハ越ノ謀臣也越初メ吳ニ困シ ○菊池キクチ

武時タクトキ 三郎ト稱ス隆盛ノ子也藤原隆家後裔世々肥後ニ住ス ○英時ヒデトキ 久時ノ子 ○太オホ

田守延タモリノブ ○西山峰堂ニシヤマミタダウ 山城 ○定平サダヘイラ ○良忠リヤウチウ ○

男山ヲトコヤマ 山城 ○貞氏サダウジ ○促ウサス ○住年丁艱ワウネンアタルカンニ 二遇ヘルヲ云

趣オモシラス ○虐ミヤス ○一モツラ ○歸順キジュン 官軍ニ ○累世ルイセイ ○冑チウ

胤イン 血統ヲ云書傳ニ ○乘襲ジヤウキンニ 乱世ノ時ヲ ○濟サイ ○家累カレイ

長崎圓喜ナガサキエンキ 平頼綱 ○質任チジン 八質 ○千壽王センジュウ 足利

竹田タケダ 山城 ○神祇官シンギカン ○東寺トウジ 往昔迎蕃客鴻臚館也

西鴻臚為西シ ○穿塹ウガツホリヲ ○列柵ツラネサウラ ○妻鹿長宗メガナガオネ ○贅リョ

力リョク ○障シヤウ 釋名曰障裨也 ○二ニ 上皇シヤウタウ 後伏見花園 ○收復シュフク

トリ返トリヘ ○要擊ヨウダキ 待ブセシ ○近江番馬ミナミナマ 本曾街道ニシテ京師ヲ隔ル縁ニ

一里余醒イチリヨ 井 ○道平ミチヘイラ ○停ヤム ○新田義貞ニツタヨシサダ 始メ太郎ト稱ス上野國

新田郡ニ住ス仍テ氏トス三才圖會云清和天皇十五代後胤源義家九代ノ孫也父六郎頼氏 ○世良田セラダ 本書

庄 ○舟田義昌フナダヨシマサ ○令旨リヤウシ 親王ノ命ヲ ○宗族ソウゾク 一門

○豪富 ○催督 サイトク 催促シテ出サ ○梟 ケウ 獄門ニ ○義 ヨシ

助 スケ 義貞 ○大館宗氏 オホタチムネウシ 次郎ト稱ス ○堀口貞満 ホリグチサダメツ 三郎ト稱

ス左馬權頭貞義子 ○巖松經家 イハマツウネイハ 三郎ト稱ス ○里見義胤 サトミヨシタネ 五郎ト稱ス

○生品祠 イシナノレ 上野國 ○薄暮 ハバ 夕タグレナリ ○櫻田貞國 サクラダサダツニ 治部大輔

ト稱ス時 ○泰家 ヤフイ 左近大夫ト稱ス高時弟 ○關戸 セキド 武藏國 ○極樂寺 ゴクラクジ

坂 サカ 本書一一切通シトアリ 鎌倉七入ロノ一也 ○坂上柵 サカノウヘノサカ

外ニ名越切通朝夷名切通大佛切通等アリ ○面海 オモセカイニ 海ニ向ツテ ○駿河 ガハガハ

本書坂上見エズ七入ロノ内亀谷坂假挺坂巨福寺坂等アリ ○面海 オモセカイニ 海ニ向ツテ ○駿河 ガハガハ

○江田行義 エダヨシ 有氏 ○適風 タシフウ 甚 ○煙 エン

○威靈 イレイ 君ノ聖文神武ノ德ニヨラバトアリ ○出重圍 イツナウヘ 柵ヲ

○巡狩 シユンレウ 天子諸國ニ適ヲ云フ ○候人 コウジン 門庭家

○殿法印 ○部曲 ベキヨク 本ニ手ノ者 ○票掠 ヒヤウリヤク 本ニ京中ノ

○繕修 ○物情恟々 モノセイウキョウキョウ 世間

○還初腹 カニシメシヨフシメ 本ニ急ギ剃髮染衣ノ姿ニ歸シ ○大慙 ダイシヤイ

○兆民慶頼 ○還弛 ○

皇明史略更定卷十二

纂嚴

兵士ヲアツメテ備
ヲオゴソカニスル

○不審

○閫外之寄

大將

任ヲ云フ易師卦註曰閫外之事將軍
所裁臨事制宜不惑皆依君命

○憑藉

○凌侮

忠勲

勳功

○跋扈之志

扈竹籬也水居者於水未至先作
竹籬候魚入水退小魚獨留大魚

跳跋籬扈百
出故言

○剗鋤

○天眷

天子ノカヘリ

○員

戎號

將軍

○豎子

惡ミイヤ

○解體

ハナレソ

○妄舉

ミダリニ事
ヲ起ス

○執節旄鎮廟社

本ニ大樹ノ位ニ居テ武備
ノ守ヲ全セシメテ朝

家ノ為ニ人ノ嘲
ヲ忘ルニ似タリ

○耽

○譽

令譽人

○遷

所配所

相踵

○阿彌陀峰

○直義

○義顯

義顯

冒

○甄別

ハキト

○銓定

トリキ

○冒濫

ヤタラ

擬授

功ニアテ賞
ヲ與ヘル

○内特降旨

トリワケテ内旨

○猥

濫

ミタリ

○光經

○參驗

○頒行

○供御料

オマカナ
ヒ料ナリ

○準后

藤原
麻子

○衛府諸司

六衛

○宮闈

倡妓

宮中ニナル
舞妓ノル

○主者

○依違

方向ノ定マラヌ
也詩小旻謀之臧

則具是違謀之
不臧則具是依

○紛拏

○擾動

乱レサ

○鎮

撫

○東陸

○顯家

北畠准后
親房長子

○不閑

○戎事

ハザル
ナリ
○海内統一カイナイトウイツ 天下ノ一ツニ
マトマル

事ヲ一ツ
ニ行フ
○造藩屏スエ 一方ヲウケモチテ國
家ノソナヘトナルヲ云

モミト
スル
○縉紳シンシン 縉、縉、也紳、大帶也
位高キ文官ノ

○評定衆引付衆ヒヤウヂヤウシユウヒキツケシユウ 大日本史類經傳置評定引附兩職
預參軍政ナホ貞丈雅記四卷ニ委シ

論蒙塵モウチン 天子奔外
○監國稱制カンコクショウセイ 左傳閔二年云君
行則有守守曰監國

○閏位ジュンイ 餘計ナ
位
○恢復クフクフ 復興
ナリ

紀綱キカウ 紀理其細
網總其大
○紊亂ブンラン

○用度不足
○措幣サツヘイ 金ナリ
○經忠
○參輔成

政セイ 參預也アツ
一カリタスク
○乾坤通寶ケンコンツウホウ 銅楮並用
銅錢ト楮幣ト

ヲ並ヒ
用ル也
○千里馬センリウマ 本ニ龍馬ナリトテ月毛ナル
馬ノ三寸許ナルヲ引出ス

異常イジヨウ 其相形チニモ尋常ノ馬ニ異ナリ骨舉リ筋太クシテ脂肉
短シ頭ハ雞ノ如ニシテ須弥ノ髮膝ヲ過キ背ハ龍ノ如クニ

レテ四十二ノ辻毛ヲ卷テ月筋ニ連レリ兩ノ耳ハ竹
ヲ批テ直ニ天ヲ指雙ノ眼ハ鈴ヲ掛テ地ニ向ノ如シ

時ノ吉瑞ヲ
ホメル
○穆王ボクワウ 周五世ノ王名
滿昭王ノ子

云
○孝文コウブン 前漢王名恒
高祖中子

○光武コウブ 後漢王名秀
高祖九世孫

○漢業カンゲツ 文帝時千里ノ馬ヲ獻スル者アリ文帝曰吾出ル時ハ鳶輿前ニリ
屬車後ニアリ千里ノ馬ニ乘テ獨安カ之ンヤ其道費ヲ償フテ返サル

馬ヲハ鼓車ニ駕シ劍ヲバ騎士ニ賜フ之ニ因王業榮エタルヲ云

○昭馬可睹也 昭見 ○多稅政 本ニ今政道正シ

物 除無鬼曰夫子物ノ尤也 ○蕩 ○創夷未復 金

本ニ大乱ノ後民ツイエ入苦 ○執政吐哺 本ニ執政哺ヲ吐テ

テ天下イマダ安カラザル云々 ○抗疏 抗舉也疏條陳也 ○協贊

アリ史周公世家曰一 飯三吐哺註食在口哺 心ヲ令セテタ スクルト云一 ○百辟 爾雅曰 辟君也 ○偷安 安ヲ又スムト云一 本

○庶僚阿諛 本書群臣ハ皆 ○嚮者 ○播蕩之

澤 ○功狀 トキノカキツタ ○委積成堆

參佐僚屬 スケヤクシタ ○遺叙録 恩賞ヲ與ヘルヲ

憤怨缺望 本ニ忠功ノ立ザルヲ恨ミ政道ノ正シカラザル

○時政枉濫 ○有司不公 公平ナル一 ○視訴

牒 日減 本書訴人日々ニ減ジテ訴陳徒ニ

前ニ ○無為所化 無為ノ德天下ニ及デ民ミナ堂々

繆大内 大内裏造營有 ○興不急之役

○陪課群國之賦入 本書ニ諸國ノ地頭ニ二十

重困 本ニ兵革上ニコリ 功課ヲ悲メリ云々

權ヲ重ク、賤吏 非職凡卑ノ 豪奪 本ニ貞應以後ノ新

在廳國廳ニアリテ國 司ノカハリヤク 健兒 所 伍編民 本ニ凡民

將門名族 本ニ大名高 同功一體 本ニ

怨讟之興 讟痛怨也本ニ其積 翻覆之機 本ニ綸言

節ニ當リ義ニ向テ忠ヲ立ル所何レヲ カ前トシ何レヲカ後トセントアリ

胎既 タハス 置郵 增韻曰馬傳曰置

不逞之徒 ハハス 方命倡亂 郷

怪鳥 本ニ怪鳥ト云キヲイフモノトゾ鳴ケル其コエモ

人有蛇身 本ニ頭ハ人ノ如ク 比干 殷ノ賢人紂王

夷齊 伯夷叔齊周武王ヲ諫メテ用ヒ 宣房 資通ノ孫

北山巖藏 本ニ一ト云所ハ赴カレ 中宮和歌會 本ニ中殿ノ御會

發怒 本ニ君才ホヒ 幽之地牢 本ニ二階堂ノ谷ニ土ノ牢 關東府

番

○公宗ノ實衡

○實衡ノ子

○時行

高時ノ子也相模次郎ト稱ス

○嘯聚

○時兼

○淵邊

義博

伊賀守ト稱ス甲斐守或ハ源吾ニ作ル

○窟中幽暗

本ニ闇ノ夜ノ如クナル土牢ノ中

ニ朝ニ成ヌルヲモ知至ハストアリ

○斫膝踏之

○縮頸嚙刀

○折

鋒

○寸許

○副刀

○侍姫

○板援

○未

瞋

○致光院

○長老トアリ

○板援

○未

ケア

○椒房之選

椒房ハ后妃也本ニ代々ノ立后モ多ク此家ヨリイデ云々

○浴室

植

○公重

○排柳

○浴室

擢驟至

寵愛ヲ得テ急ニ立身ヒシ云フ

○意望不厭

○宿

謀

○計畫

○忠款

○奸計

○雲從

雲ノ如ク

○具光

○擢賞

○撫納降附

コウサンノモ

○宗曹

○族望

○中

興勲臣

○盤據

○控制

○大友貞載

ニス

○列罪狀

○領邑

○舊趾

○大友貞載

貞宗ノ子也左近將監ト稱ス

○大智院宮

○忠房親王

源彥仁ノ子順德帝曾孫為

三書史田代家卷十一

無品親王
後賜源姓

○江田行義

○矢矧

三河國岡崎

○定禪

頼負ノ子
顯氏ノ弟

○飽浦信胤

○田井信高

○福山城

備後國
深津郡

○普門利清

○定清

○手越河原

駿河國阿

部川
ノ西

○管根

○竹下

駿河國
駿東郡

○久下

○時重

弥三郎
ト稱ス

○波々

○伯部爲光

二郎左衛門
ト稱ス

○中澤玄甫

○碓

井盛景

○大渡

攝津國
東生郡

○公泰

○山崎

山城國
乙訓郡

○結城親光

宗廣

○勢多

近江國

○師基

關白
兼基

○峰堂

山城國西

○老坂

○二法皇

後伏見帝

○紀資

ト稱ス

○坂本

○振旅

○光掌侍爲

勾當

禁秘御抄曰掌侍六人
此内以二内侍爲勾當

○直

○月

○月下彈

○箏

○殊色

○繾綣

不離散也
トメラル

○溺愛

テ寵スル

○逗撓

前漢韓安國傳一註云
逗曲行避敵也撓顛望也

○逸

○高山寺

○石

仁木頼章

足利矢田判官義清ノ子
後矢田二郎義勝ノ子

○白旗

赤穂郡

○石

橋和義

○土豪

土地ノ豪族

○蜂起

ハチノ如クムラ
ガリオコル

○

大館氏明

左馬助
ト稱ス

○既已

○繕完

○守備

○爲

○

○嫚言

○指斥

○舩坂山

播磨國
赤穂郡

○熊山

備前國

○

皇朝史略更蒙卷十一

百九十

三石城ミツイシノ ○武者所ムシャドコロ 職原抄述解曰ミツイシノ院ノ御在位ノ時ノ瀧口之ヲ掌ル又下北面コレニ候ストアリ

○舟師シウシ ○馳驛以聞ハチセエキヲイブニス ○過アツ ○犯闕オカスケツラ 皇城へ攻入ルハスル

○扼ヤウ クヒト ○舉朝震駭キョテウシンガイ 朝廷コツツテフルヒオトロク ○猖獗キヤウケツ

○蹕ヒツ 周礼天官官正云凡邦之事蹕註曰國有事王當出則宮正主禁絕行若今衛士填街蹕也 ○幾旬キイシ 說文旬天

子五百ミナモト ○一舉イツキョ ヒト軍ニ ○涉于物議セツブツギ ○威靈キレイ 術威光

○天助テンシヨ ○戰畧センリョク ハカリ ○嚮時キョウジ ○節度使セツドシ 唐百

官志曰一掌 ○萬乘マンジョウ ○清忠キョウタマ 坊門ノ宰相ト稱ス ○櫻井驛サクラヤノユキ

山城關山崎ヤマトノセキ ○菊作刀キクツクリノタガ ○正行マサユキ 叙正四位下 ○湊川ミナトガハ

部郡

論精銳ロネイ ○席卷セキクワン ヒトマトメ ○散卒サンソツ チリノニナツタル士卒

○失策シツサク ハカリゴトノ ○晷コウ ○銳氣エイキ スルドキイキホヒト云フコト

○少年推鋒之計セウネンオスホウノケイ ソノコトノツタナキヲ云フ前漢吳王濞傳此年少推鋒同耳

○一敗塗地イツバイマミルチニ

○倉皇サウクワウ ○法皇ハフクワウ 本書本院トアリ花園帝ノ ○廢主ハイシユ 光嚴帝ヲサス

疲幣ヒヘイ ○樹錦旗ツキキンキフ ○持明院上皇チミヤウキレシヤウクワウ 本書持明院法皇トアリ後伏見帝

○快鬱クワイウツ キノフサガリテ ○忠顯タツアキ 千種宰相中將ト稱ス ○雅ヤ

忠家坊門 ○侍險 ○相蹈藉死 ○
ト号ス

大嶽 敷山ノ ○填塹燒樓櫓 ○叢鋌 叢集也ヤシリ
内ナリ

○白鳥岡 敷山ノフモ ○徑進橫擊 ○詰且
トニアリ

○亂撞 カネヲミダリニウ ○下擊 ○蹂躪 ○國衙
チナラスコト

ソノクニノヤクシヨナリヤクシ ○牒 ○餉道 ヒヤウロウ
ヨニ收ル歳入ヲ云ルコトニナル

温顏勞獎 イタハリス、ムル ○紅袴 ○感激拜
ガンラウシヤウガシ色ヲヤハラゲテ

謝 ○成敗利鈍 軍ノ勝負兵ノ ○逆料 ○轉聞
セイバイリドン 強弱ヲ云フ

○披靡 ○注箭 矢ノネラヒ ○軼 トホリヤ
ヒビビ

○額 ○淋漓 血ノナガ ○寸斷 ズタノハ ○奮激 フルヒ
ヒタイ リ

○笠 殊死 ○潰圍 ○豐仁親王 後伏見帝 第二子母
リフガウ シュシ

光嚴帝 從駕士 ○取給於僧徒 軍用ヲ僧徒
ニ同ジ

○饑困 ○部伍 日減 ○勾當 ツカサ ○經
キコシ

略 華山院 近衛ノ南東洞 ○監衛
メグリアルキキ

目付ヲシテ ○懷良親王 後醍醐帝第十 光繼
マモル

定平 ○盧津 ○氣比社 敦賀 ○氏治 氣比大宮司
サダヒラ

○金崎城 越前國 敦賀郡 ○高經 タカツネ 泰氏子幼名千鶴丸尾張孫三郎ト稱ス又氏ヲ斯波ト稱ス

○瓜生保 ウリフタモツ 判官ト ○杣山 ソマヤマ 越前國 南條郡 ○顯信 アキノブ 副將軍 春日少

將ト稱ス鑢守府 カケシゲ 刑部大輔 ○劍 ツルギ 劍山也加賀國ニアリ ○白 ハク

將軍頭家弟ナリ ト ○景繁 ト稱ス ○那多城 ナタノ 加賀國 ○日 ヒ

山 加賀國 石川郡 ○富樫介 ガシノスチ 姓名未詳 ○那多城 ナタノ 加賀國 ○日 ヒ

吉加賀法眼 ヨシカハフホウガン ○據險 コルケン ○壞垣 クハキ ○負擔 フタン 荷物ヲ持運フ

○咫尺不辨 セキハチハバツカ一尺ノアヒ ○隱然 インゼン ハツキリト ○稻荷祠 イナリノミヤ 紀伊 ○作歌禱之 ツクリウタノイノルユラ 本ニウバ王ノクラキ闇路ニ迷フナル我ニカサナン三ツノトモ

水院主宗信 ミヅイノシユウウシノブ 吉水院吉野ニアリ ○招諭 セウゴン ○和田正朝 ワタノマサトキ

賢秀 ノ弟 ○真木定觀 マキチヨウケン ○迎衛 ゲイエイ ○渡邊忠景 ワタナベタカカゲ

時成 トキナリ ○義鑑 ギカン 保ノ弟 ○外援 ゴウイエン ○宰馬 サイバ 馬ヲキリ ○招 セウ

徠 ライ マネキ 来ス ○行房 ユキフサ ○井伊城 イイノシロ 引佐郡 ○金谷經氏 カナヤツネ

○丹生山 ニフヤマ 越前國 丹生郡 ○自贖 ミツカラガナフ 功ヲタテ、前罪ヲアカナフ也 ○利根河 トネガハ

上野國利根郡坂東太郎ト稱ス坂東一ノ沢河ナリ ○義詮 ヨシノリ ○千壽王 センシユウ ○和氏 カウシ

阿波守 ト稱ス ○義興 ヨシオキ 幼名得壽丸義頭ノ異母弟 ○相持 アヒシ 双方タメラフ

皇朝史略更張卷十一

頼遠ヨリトホ

彈正少弼

○

桃井直常モモイナホツネ

足利義康ノ裔高祖義胤上

○

青野原アヲノハラ

美濃國

○

定房サダフサ

○

諳練朝典アンレンステウテンラ

○

吉續キチゾク

紀キ

○

青野原アヲノハラ

美濃國

○

定房サダフサ

○

諳練朝典アンレンステウテンラ

○

吉續キチゾク

紀キ

○

二十三卷

○

吉槐キチクワイ

記キ

今世ニ

○

雲津川クモツガハ

伊勢國

○

足アス

○

羽城ハシ

越前國足羽郡

○

崩潰ホウクワイ

○

成良親王ナリナチ

帝弟六子

○

撿視ケンシ

○

首級シユキウ

クビヲシ

○

義氏ヨシウヂ

大炊助ト稱ス

○

勅敵テキ

○

緩クシ

○

栗原氏光アハハラウミツ

本書栗飯原下總守トアリ

○

酖チン

左傳註云酖鳥名其羽有毒畫酒飲之則死

○

幽鬱ウウツ

氣ノフサイテ居ル

○

全理ゼンリ

ムジデラル

○

界浦サカヒノ

和泉國大鳥郡

○

手詔テセウ

帝ノミツカラカキ

○

藤島フジマ

越前國

○

黑丸城クロマル

同

○

川中カウチ

亂射

○

排楯ハイドテ

○

射手シヤシユ

弓ヲ射ル組

○

扞マモル

衛也正韻曰以手扞也

○

馳突チトツ

カクタテツ

○

中野宗昌ナカノハネマサ

○

千鈞之弩センキンノドハ

弩大弓也

○

不為フタヘ

鼠ネズミ

發機ハツキ

弩也

○

カハラザルヲ云

○

無為ムギ

無益ナリ

○

狗イヌ

同シ

○

徑馳キョウシ

○

踰塹コユザン

○

馬蹟而僵ウマソクニシテ

○

自剄ジコウ

○

剗腹コハフ

○

霧雨ムウ

○

昏濛コンモウ

○

逃散略盡タウサン

○

錦囊キンノウ

○

不的知フテキチ

カタクシ

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

結城宗廣ユウキムネヒロ

太平記入道

○

節度セツド

節制也

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○

○漂ハコヨフ ○篠島サハシマ 國イ勢 ○元應ゲンオウ ○元亨ゲンカウ ○正中シウチュウ ○

嘉曆カリヤク ○元德ゲントク ○元弘ゲンコウ ○建武ケンブ ○延元エンゲン ○英エイ

毅キ ○元兇未殄ゲンキヨウ イダホロビ 兇惡暴也殄滅也本ニ生々世々ノ忘念トモ成ヌ
ベキハ朝敵ヲ悉ク亡シテ四海ヲ泰平ナラシメ

シト思
フ計也 ○慷慨カウガイ 本ニ朕早世ノ後ハ第七宮ヲ天子ノ位ニ即奉リ
賢士忠臣事ヲ圖ル義貞義助ガ忠功ヲ賞シテ子

孫不義ノ行ナクハ股肱臣トシテ天下ヲ鎮ムベシ之ヲ思フニ玉骨
ハ縦南山ノ苔ニ埋ル尸魂魄ハ常ニ北闕ノ天ヲ望シト思フ云々 ○按オシ

劍以崩モツアホリ

論延喜延久エンキ エンキウ 醍醐後三條ノ御代ヲイフ ○陳力チンリキ カラ盡スツ ○以モツテ

少康セウカウ 依之イテ 衆復齊襄シュウフクサイ 九世之クニヤ

衆ヲ以テ禹ノ續ニ復セリ齊襄公ハ桓公九世ノ孫也田單ガ謀ヲ以

テ燕ニ勝テ奪ハレシ地并ニ
七十餘城ヲ復シ歸ヲ報ゼリ ○滔天トウテン 滔浸也イキホヒ
ノサカニナル

馭ゴ 人ヲヒキマハ
シツカフ ○措置ソウチ トリハカ
ラヒムキ ○乖方グアイフ 方ハ
法也 ○英エイ

略リョク スクレタル
ハカリゴト ○偏安ヘンアン 一方ニオチ
ツクヲ云フ

○

○

○

後村上天皇

義良

○第八子

大平記七宮トアリ諸書多ク七子也第一尊良第二世長第三護良第四宗長第五恒長第六

成長弟

○新待賢門院

右中將公廉女藤原ノ廉子

○夢抱日

七帝也

有娠

○隆資

四條隆實ノ子

○機務

本ニ万機悉ク北畠大納言ノ計ヒトシテ二人專ラ諸

事ヲ執

○多故

故事也軍事ノシケキヲ云フ

○湫隘

湫ハ隘也セマキ一本ニ洛外山中ノ

皇居事周備スベ

○畑時能

○伊地山

越前國

○根尾

城

○頼遠

七郎ト號ス伯耆守頼貞ノ子

○頼康

○慰勞

○賞維

甚至

○累敗

○無所依歸

○賞維

盛

○音ニオトロキテ

○事

任責成

大將ニウチマカセテ功ヲ成ヲマツトナリ

○不從中

軍中ノ一ハ大將ニ任シ

テ朝廷ヨリ

○將令之聽

大將ノ命ニノミシタガハシムルコト

○乃者

指麾

○朝裁

朝廷ノ指

○將權日輕

○孟明視

西乞術

○爲晉所敗

秦穆引咎責

孟一西一ハ秦將也鄭ヲオソ

七敗レテ歸ル穆公罪トセズシテ百里奚襄叔ヲガ諫メヲ用ヒサリシ謬ヲ責ム

○激勵

○宣遺

詔

○正朝

正行從弟也次郎ト稱ス

○顯信

○義宗

義貞ノ子

○義

興

義貞二男義顯異母弟ナリ

○三角

○櫻山

○高師直

右中辨高

階モロ峯フユ雄ノ後弟

○師冬ノ弟

○信胤グタネ

○有資アリスケ

○河田カウダ

○武市タチイチ

○日吉ヒヨシ

○沮喪ソサウ

○白河城シラカハノ

○師泰モロヤス

○駒館城コマタデノ

○賴春ヨリハル

○世多城セタノ

○興良親オキナガ

師直ノ弟

○井伊城イイノ

○小田オダ

○小田城オダノ

○興良親オキナガ

○關城セキ

王一ニ陸長マタ

○小田オダ

○小田治久ハルヒサ

○結城親朝ユヅキチカトモ

○關城セキ

武藏國葛飾郡

○大寶城ダイバウノ

○結城親朝ユヅキチカトモ

○關城セキ

○關城セキ

子修理太夫

○顯國アキクニ

○荻野朝忠オギノトモタツ

○山名時氏ヤマナトキウジ

○山名時氏ヤマナトキウジ

林河内國

○矢尾城ヤノノ

○山名時氏ヤマナトキウジ

○山名時氏ヤマナトキウジ

○山名時氏ヤマナトキウジ

左馬介

○賢秀ケンウ

○四條シジョウ

○展微力センビリキ

○展微力センビリキ

○展微力センビリキ

憂イウ

○糾合キウガフ

○珍滅テンメツ

○兇逆キョウギャク

○兇逆キョウギャク

○兇逆キョウギャク

孤負コフ

○報効之秋ホウカウノトキ

○報効之秋ホウカウノトキ

○報効之秋ホウカウノトキ

雌雄之決シウウノケツ

○龍顏リウガン

○龍顏リウガン

○龍顏リウガン

如意輪堂壁イイリンダウカベ

○龍顏リウガン

○龍顏リウガン

○龍顏リウガン

ニイル名ヲゾトブムル

○溺卒デキソツ

○視養シヤウ

○視養シヤウ

ト一首ノウタヲカキ云々

○溺卒デキソツ

○視養シヤウ

○視養シヤウ

○正儀マサノリ 正成ノ ○光明院クワウミヤウキン ○興仁オキヒト 光嚴帝ノ長子 ○崇ソウ

光院クワウキン ○花園法皇ハナソノ 御名御名 ○荻原殿ヲギハラ ○赫奕カクエキ ○

薰灼クンシヤク トモニサカン ○贈遺ソウウキ オクリモノ ○兩御所リヤウゴ ショ ○直冬タキフユ ○

妙詰マウキツ 本ニ夢窗國師ノ法眷ニ侍者ト云フ僧云ク ○勢利之徒セイリノト ○阿諛アユ

奔走ホンソウ オモノリヘツラヒ ○貨賂山積クワロサンニ ○陵辱リヤウジヨク ○街フナム

心ノウチニ ○上杉重能ウヘスギシゲヨシ 憲房憲房 ○畠山直宗ハタケヤマタケムネ 四郎宗四郎宗

○結ムスブ ○納イル ○繹騷エキソウ 繹連絡也騷擾動也ヒ ○屏居ヘイキヨ

○慧源エズエン ○流離リウリ 前漢郊祀歌曰關流離前漢郊祀歌曰關流離 ○兇豎キョウジュ

ツコト ○窮蹙キョウシツ ○師基モトモト ○石川之園イシカワノカミ 河内國河内國 石川郡石川郡

能憲ヨシノリ ○西郊ニシカ 本書ニ物集女前西岡本書ニ物集女前西岡 ○石堂賴房イシドウヨリフサ

○書寫山シヨシヤサン 播磨播磨 ○義依ヨシヨリ ○御影濱ミカゲハマ 攝津國攝津國 菟原郡菟原郡

狼狽ラウバ 酉陽雜俎曰狼前足絕短狼前足絕長每行常駕酉陽雜俎曰狼前足絕短狼前足絕長每行常駕 ○松マツ

岡城オカノ 攝津攝津 ○響場氏直アイバウチナホ ○披剝ヒテイ 前前 ○勲舊クニキウ フルフル

功アルモ ○瞋笑シンセウ ○喜懼キキョ ○貪淫タンイン ○擅張兇威ホシヒマニバルケウ

○逞其毒螫テイニキドクセキ 毒螫ハ毒虫ノハリニタトフ ○怨望エンバウ ○營第宅エイナムタイダク ○

極壯麗○就淫女色ニフケ○姿色○桃○事

播都下本ニ執事ノ宮廻ニタムケヲ受ヌ○誣其反シユソノハナラ本ニ

隱謀ノ企アル由ヲ様々シテ○挈家家族ノコラマ○且囑必生ウツグクカラスセシ

致其妻イタセトシノサイフ○淫虐○將軍塚○猜サイ

忌○危懼○浮言沸騰○八相山近江○講カウマレ

和不就和睦セント計レ凡○直仁母宣光門○觀クワン

應○正平○準三宮○頒賞ナアヌフル○所トコロ

伊豆山伊豆○賀名生○戎衣○顯能親房

子○顯經○正忠○由良信阿○義治義助

○一時之權宜イツトキノト○賊魁○小手差

原武藏○挿トウホウ○兒玉黨○團扇○石

濱武藏○日己ヒスデニ○暝ウスイ○吹嶺上野○基氏尊氏

名龜若九○河村城相模國府○宇津峰城駿河○東條

三河赤井○園殿京師○佐羅科京師○

矢野○湯川庄司○雅賢○一宮有種○

康長ヤスナガ○木津河キヅカハ○吉良湍貞キラミツサダ○彌仁親イヤヒト

王モロヨシ○師義モロヨシ○少貳賴セウニヨリナホ尚ヒサ貞經貞經○服從フジュウ○畔ソムク○

豐田城トヨタノ長門長門○教忠ノリタタ○隆俊タカトシ○正武マサタケ○氏範ウヂノリ

貞範貞範嫡
太夫判官

論メイバン名分新シユ○新主後光嚴院ヲ指ス○典刑テンケイ○梟獍ケウケイ

父ニ仇スル惡行ヲ云ナリ述異記曰獍之爲獸狀如虎豹而小始生還食其母故曰一前漢郊祀志註梟鳥名食

○圖抗父ハカルカラスヲ云字彙曰抗敵也逆天虐民曰抗○悖逆ハイゲキ○不容誅モトリサツ

コロサナクテハ
ナラスト云フ
區々之衆ヒシクワツカノ人數ト云意前漢

謂小也
○寒心落膽孫楚書云引嶺南望良寒心唐史曰今日膽落溫御史矣

○寵秩オウチツ○堂々ダウダウ威儀盛正ノ兒○爲遁逃之淵藪ナルホ

カケオチ人ノカク
レトコロトナル
○賊子ゾクシ書舜典傳云殺入曰賊○○紊ブン說文曰○

彛倫イリン書洪範曰彛倫攸叙廣韻曰彛法也正韻曰倫常也○畢ヤブ書洪範云彛倫攸一傳云一敗也

○其漸ソノゼン說文曰事之端先觀之始也

○師重モロシゲ○中院ナカノイデ○間關カンクワン後漢荀彧傳云荀君乃越河冀一以從曹武トアリア

テモナク
ト云フ意
○艱難備嘗カンナンビサウ前ニ○博洽ハクカフ○貫穿古今クワンセンコノキン

古今ニユキ
ワタル
○職原抄シヨクゲンセウ二卷アリ○神皇正統記ジンクウセウテウキ六卷アリ

定房サダフサ○後三房ゴサンバウ○中興不終チュウコウス○皇ミコ

統垂絕トウチケツ垂向也トセンヤ○推本皇祖建國之意オモトツキクワツケンコクノイニ

天照大神皇孫ニ三神器ヲ授ケ宝祚ノ隆天壤ト共ニ無窮ナル
ヘシト宣シ天降テ國基ヲ建玉ヘルニ推モトヅキタルナリ

○揭皇統於己微カダクワウトウラステニナルニ揭ハアラハス一微ハ
○明神器アハスミンキ

之有歸ノアルヲキ三神器ヲ正シク受傳ヘ
○顯微扶正○合アハミビヲタスシセヲア

春秋遺旨シュンシュウノイ孔子ノ春秋ヲ作ラレタ
○班鳩驛イカルガノエキ捐東郡鴨村

○神南山カウナミヤマ山城國男山
○七條シチジョウ○諏訪祝スワハハツク祝神官

○武光タケミツ武時タケトキ一色直氏イツシキナホウ範氏範氏ノ稟請ヒンセイマラシ

○顧忌コウキ弁髦ベンバウ童子ノ髮ノタレザガリタルヲ云フ
小爾雅云一太古冠冠而敝者也

叙名曰髦冒也
○戰爭之區センサウノケイクサノチ
○焚蕩フンダウ燒失シテアレタル

饑疫相踵キエキソグ盜賊橫行タウジクワウカウ本ニ國ツイエ人
ツカレテキ、ン

疫疾盜賊兵乱
○枕藉シヤ藉踏也タフレカサナツテフル一西都
賦曰原野蕭條目極四裔禽相鎖壓

獸相トウ闘茶飲博チヤインハク茶ノ會ヲシテ
○競以奢靡相キソツテモツモシニヤビヲアヒ

夸ホコル本ニソバロナルバサラニ耽テミニハ五色ヲカザリ食ニハ
○賤帛器玩センプキ○優妓イウキゲイギ
○賄賂公行ワイロコウカウ○冤エン

獄荐興ゴクニキリニオコル弄干戈更相吞噬ロウシテカンクワラクガヒニアヒドシゼイス吞噬ハ土地ヲ
○駭サイ

然ゼン モノサワ ○疎石ソシヤク 夢相國師 ト号ス ○天龍寺テンリウジ 三才圖會云 天龍資聖禪

寺在山城國 ○累鉅萬タヌキヨマンヲ 鉅巨也大金ヲカ ○度量恆弘ドリヨウクダアイ コウ

葛野郡嵯峨ケノリヤク ○權略ミハカラヒ ○若遲緩而計畫分明ケイカククワンメイ 遲緩ハテ

○譎詐ケツサ ○人無窺其際オクハ限也コ、ロノ ○視金ミルキン

帛如土芥ハクラゴトニ ○頒與ハノヨ ○所在來飯シヨザイライキス アタリクモノニ

竹澤良衡タケザハヨシヒラ 監物ト ○負罪棄邑オクルタラ ○送款コウケン コウケンヲマ

○少將セウジヤウ 名 人 ○忠赤チュウセキ 赤赤 心也 ○江戸亮寬エドカヒロ 遠江守

陽爲叛狀イソリテナク ハンニヤウヲ ○道誓ミチセキ 國清入道ニテ ○司命シメイ 主將ヲ

○親信シンシン ○矢口渡ヤグチワタ 武藏國 荏原郡 ○鑿舟柁之サツフナノ 也本ニ

舟ノソコヲエリヌ ○抽柁ヌキゼイラ 本ニニツノ、ミヲ同 ○直秀ナホヒデ ○雷ライ

鳴波涌ナリナミワシ ○黑雲一道コクウンイツダウ 本ニ黑雲一群頭ノ 上ニ落下リトアリ ○歐血ハキ

悶絕モンゼツス ○宛轉攀緣エンテンハンエン 宛一ハ水ニマロビタッヨフ兒攀一ハモ

手足ヲアガキ水ニオボレ ○大原オホハラ 筑後 國 ○親弘チカヒロ ○寶万ホウマンガ

嶽タケ 筑前國志摩郡ニ ○天野アマノ 河内國 錦部郡 ○天時地利人

和カワ 此語司馬 法ニイヅ ○今茲コトシ ○大將軍在西オホセイウグン アリニシニ 西ニアタルヲ云 ○

稱兵シヤウヘイラ 稱舉 也 ○藉軍興シヤクグン 軍ノオコルヲイヒ ○倫輩リンハイ ナカマ同

○疲憊ヒバイ ○觀心寺クワンシンジ 河内國河内國 ○龍泉リウセン 上上 ○龍門リウモン

大和國大和國 ○平石ヒライシ 河内國河内國 ○八尾ヤハ 上上 ○隆俊タカトシ ○最初サイシヨ

吉野郡吉野郡 峰ミネ ○津々山ツヤマ ○義深ヨシフカ ○阿瀬川城アセガハ ○直氏ナホウジ

範氏ノ 二子二子 ○清氏キヨウヂ ○範實ノリサネ ○氏賴ウヂヨリ 高經高經 ○信詮ノブアキラ

平戸城ヒラト 肥前國肥前國 ○真木野マキノ ○水速城ミツハヤノ ○貞範サダノリ

兇殘ケウサン 殘一忍也書泰誓殘一忍也書泰誓 ○西宮ニシノミヤ 攝津國攝津國 ○賴夏ヨリナツ ○遇アツ

絶セツ ○西山ニシヤマ 京師京師 ○四散シカ 四方四方 ○繹騷エキサウ 前前 出出 サワ

狐妖歌コイヨウノウタ 本書ツネニ狐ノ皮ノ腰當ヲシテ人ニ對面シケルヲニク狐妖歌

修善寺城シュゼンジ 寺三ツノ城ヲ攝ヘテタテコモリスリ修善寺城

○長信綱チャウシツ ○阿保信禪アホシンゼン ○松浦黨マツラトウ ○飯盛イヒモリ

山ヤマ ○倉懸城クラカケノ 美作國美作國 ○隆俊タカトシ ○邦光クニミツ ○高秀タカヒデ

貞世サダヨ ○範國ノリクニ ○了俊リヤウシュン ○今川狀イマカハジヤウ ○以還コノカタ

師徒シト 兵士兵士 ○版圖ハン ○賴之ヨリ ○白峰シラミネ 河野郡河野郡 ○神崎カンサキ

攝津國川辺郡攝津國川辺郡 尼ヶ崎之尼ヶ崎之 方一里ニアリ ○近江湖アツミノミツウミ 琵琶湖ト云巾七里長凡廿四里涸ハ水ノ干タル也

○高麗カウライ ○承元主之旨ウケゲンシユノシヲ 元主ノイヒツ元主ノイヒツ ○不報牒オホウセテフ

返答書返答書 ○管領クワンレイ ○氏滿ウヂミツ ○憲顯ノリアキ ○執事シツジ ○住スミ

吉殿 ○興國 ○正平

長慶天皇

寬成 ○憲將 ○義滿 ○不堪負荷

左傳曰其父折薪其子弗克負荷 ○付託 ○黽勉

○至廢寢食 ○學行醇篤 ○醇厚也マナビモオコ

充師友 ○啓沃 ○隱逸之士 ○匡

益 ○戒法 ○頒示 ○阿主好 ○

掩親 評疎 ○愛憎 ○

仇家 ○

是非人 ○外和柔 ○

○內實傾險 ○澄泊 ○

○邀賞 ○狗私忘公 ○掠同列之美 ○

已ガホマレ ○告發 ○標準 ○伺察人

物 ○髡者 ○使守積註曰王之同族不宮之者髡頭而已 ○

異巾大刀 ○遊押 ○詠歌舞 ○迎合 ○

ニイルヤウニ ○童坊 ○倭坊 ○折節

オコノヒヲタ
○松倉城マツクラノ○通直ミタナホ○直和ナホカフ○長澤ナガサハ

○武政タケマサ○緒仁オヒト○後圓融院ゴエンイムフキニ○南嚮ナニキョウ 吉野ニ

○西山ニシヤマ西芳寺サイサイハレジ○蹕ヒツ 天子行幸 留所曰○建德ケントク○文ブン

中ナカ

後龜山天皇コカメヤマ

熙成ノリナリ○第二子ダイニシ第一寛成第一寛成○嘉吉門院カキツモンニ御名勝子福恩

寺閨白寺閨白○隆俊タカトシ○絶海ベツカイ○鹿苑ロクエン

僧ソウ○太祖タイソウ姓姓名名○熊野古祠クマノコソ○徐福コノハシ

○波濤ハタウ○血食ケツシキ祭也祭也

○琥珀コハク韻會曰松脂韻會曰松脂○懷良親王カネナガ後醍醐帝後醍醐帝ノ六子ノ六子阿蘇宮阿蘇宮ト稱入ト稱入

征西將軍良成セイセイミヤウゲンナガシゲ後村上帝後村上帝第九子第九子○託磨原タツマハラ肥後國肥後國託磨郡託磨郡

業氏ノリウヂ顯氏顯氏ノ子ノ子氏氏○義理ヨシマサ時氏時氏○時義トキヨシ氏氏清清弟弟○

土丸城ツタマル國國伊伊○藤波フタナ上上同同○石垣城イシカキ○新葉ニハ

和歌集ワカミツ二十卷二十卷○平尾ヒラヲ○義政ヨシマサ下野ノ人下野ノ人朝政朝政九世孫九世孫父氏父氏政政

氏滿ウヂミツ○若犬丸ワカイママル○田村莊司タムラノシヤウジ則義ノリヨシ○古河コカ

○清水キヨミヅ○氏春ウヂハル○家則イヘノリ○祐春スケハル○秀則ヒデアリ

小田五郎ミナタゴロウ○穴戸男アナドノヲ體城タマキ常陸トコノ○滿幸ミツユキ

講和コウワ和義ワギ○三神器サンジンキ三種ミユノ○天授テンジュ○弘和コウワ

○元中ゲンチュウ

後小松天皇ゴコマツテンノウ

幹仁カンニ○通陽門院ツウヤウモンニン藤原嚴子內フジハラシロノ大臣公忠女ダイシンキウチュウメ○土御門殿ツチミカド

○修鄰好シユスリンコウ隣國ノヨシミリンコクノヨシミ○端厚タンコウ○聲績セイセキ名聲ナセイ政績セイセキ○

離間リカンソバヨリハナチヘタソバヨリハナチヘタ○斯波義將シハダヨシマサ○滿室マンシツ家イケイツバイ

○蒼蠅サウコウハハ小人ハハコノリ○禪榻ゼンダ榻ハコシタハコシ○嚴嶋イッショ安藝安藝

○薦其冥福センミョウフク○懇惻切至コンソクセツシ深切セツセツ盡スツク○殂ソ御正統ミマサトウニニ

ヲ以テヲトケル也トケル也○實時サネトキ○師嗣モロツグ○義持ヨシモチ○具通クミツ○西サイ

園寺遺址エンジノイシ址迹シジ○三層閣サンソウカク三重閣ミヘ○壁柱戸牖ヘキチウコヨウ

○室町第ムロマチノダイ○義弘ヨシヒロ○滿基ミツモト○滿兼ミツカネ○界浦サカイノウラ

○詮直センナホ直氏チキ○時清トキキヨ○基國モトクニ義深ヨシフカ○聲援セイエン声ハセイハ

ヲラスヲラス○諜テマハシモマハシモ○間使カニシ両方ノ間ニアリテリウホウノマニアリテ○武衛ブエイ

唐名カラナ○祖阿ソノア○肥富ヒフ○文中ブンチュウ長慶長慶○通商ツウショウ

交市カウシ○梗カウ○天倫テンリン道義明使僧道ドウギメイシソウドウ尋一如ニスナハチニ對面云々ノアリ是ナルカタイメン云々ノアリ是ナルカ○實冬サネフユ

○義重 ○鹿苑院

論名與器ナトト ○假カ借カ也 ○鼻息ビソク ○驕潛ケウセン ○

陵替リヤク ○姦宄カニキ 外曰盜 內曰宄 ○請隊問鼎コヒスイ 春秋戰國ノ故事ニシテ

天子ノ位ヲノゾムヲ云フ左傳僖二十五年晉侯朝王々饗醴命之皆請隊弗許同宣三年周定王使王孫滿勞楚子楚子問鼎之大小輕重

對曰在德不在ジユンキヨ ○箕簋ジユンキヨ 宗廟ノ祭器ノ一ニテ神器ニ比シタル鼎トアル是也

也在上高峻也縱曰虛虛舉也在旁舉箕也トアル是也

○寬不戢下ミナシ 戢斂也ユルヤカスギテ下ヲヲサメエヌトナリ ○脩飭軍政シウチウ

軍政共ニ法則ヲ立テ紀律嚴肅キリツゲンミユク 肅敬也 ○偏疆ヘンキョウ 偏

也強也 ○懾伏セツフツ ○久我氏 ○淳和獎學兩院別ジュンワガクニョウイン

當タマフ 淳和院獎學院共ニ源氏ノ人ノ修學所 ○寶幢寺ホウダウジ 金閣寺ト

稱ナヅケル ○相國寺サウコクジ 山城國 ○規制宏麗キセイカウレイ モヨウダテノ大ヒニウルハシキ一 ○

浴用エンヨウ ○南蠻ナンバン ○象ザウ 說文曰長鼻牙南越大獸三年一乳象耳牙四足之形 ○孔

雀シヤク 增益經一有九德 一名越鳥又名都護 ○鸚鵡アウム 格物總論一能言鳥本草綱目一一大者爲鸚鵡小者爲鸚哥

○忠嗣チュウソク ○經嗣ケイソク ○明主メイシュ 太宗ト 號ス ○武庫ブコ 武庫郡 ○

至德 ○嘉慶 ○康應 ○明德 ○應永

皇朝史略便蒙

明治九年六月十二日版權免許
同十年十二月七日出版

編輯人

静岡縣平民

飯田恭雄

第八大區九小區伊豆國田方郡
牧鄉村第二拾四番地住

訂正人

萩原正平

第八大區三小區伊豆國君沢郡
小坂村第拾三番地住

出版人

小西又三郎

第八大區五小區駿河國有渡郡
三嶋町第六百七拾二番地住

出版人

廣瀬市藏

第四大區五小區駿河國有渡郡
静岡江川町第十一番地住

東

京

山中市兵衛
牧野吉兵衛
稻田政吉
丸屋善七
松村平吉
稻田佐兵衛
木村源兵衛
江嶋喜兵衛
内藤支店
山崎清七
石川治兵衛
吉岡重次郎
東生龜次郎
水野慶次郎
北澤伊八
青山清吉

弘

通

西京 藤井孫兵衛
同 田中治兵衛
同 村上勘兵衛
大坂 松村九兵衛
同 大野木市兵衛
同 柳原喜兵衛
愛知 片野東四郎
同 栗田東平
同 鬼頭平兵衛
山梨 内藤傳右衛門
勢州山田 加藤長平
同松坂 柏屋兵助
濃州岐草 三浦源助
同 岡安慶助
三州岡崎 伊藤文吉
同 楠岡佐橋

諸

國

三州豐橋 玉水庄兵衛
遠州濱松 白木健次郎
同 齋藤太兵衛
同 山下仁平
同掛川 大塚好五郎
同 村松庄三郎
同金谷 佐塚半三郎
駿州嶋田 五條甚右門
同三令 荒浪平次郎
同藤枝 遠州屋安兵衛
同 小西茂左門
同 吉永保次
同小川 増田平三郎
同静岡 佐藤俊平
同 大森弘三郎
同 米山定昌

書

肆

駿州静岡 三浦弘夫
同 青木榮次郎
同小吉田 三浦定吉
同小島 内藤銀六
同沼津 小松浦吉
同 吉成壽三郎
同 荒川源助
同中嶋 関谷利右門
同葦山 共立社
同松崎 内田桂兵衛
同下田 鈴木久七
相州小田原 米屋忠兵衛
同 曾比屋平七
同藤沢 釜屋清兵衛
同 川上九兵衛

第36108号

平成 3.11.22

聖和学

210.1

園短大

コ

図書館

下

